

#### 4) ニーズ調査結果

##### ①調査概要一覧

表 2-6 調査概要一覧

実施調査名	市民アンケート	乗降調査	バス利用者アンケート	移動制約者アンケート	高校生アンケート	主要集客施設ヒアリング	地域懇談会 （「バス」と「まち」を考 えるおしゃべり喫茶）
調査実施日	平成 27 年 8 月 13 日～8 月 24 日	平成 27 年 7 月 10 日～7 月 16 日	平成 27 年 7 月 10 日～7 月 16 日	平成 27 年 8 月 26 日～9 月 14 日	平成 27 年 7 月	平成 27 年 7 月 12 日、7 月 14 日	平成 27 年 12 月 3 日、12 月 10 日
調査対象	美濃加茂市に居住する 15 歳以上の市民（3,000 世帯）	市内を運行するバス路線（東濃鉄道バス八百津線、あい愛バス全線、あい愛予約バス）の全利用者	市内を運行するバス路線（東濃鉄道バス八百津線、あい愛バス全線、あい愛予約バス）の利用者	要支援登録台帳に登録している 15 歳以上の市民（1,175 人）	美濃加茂市内に立地する高校（加茂高校、加茂農林高校、美濃加茂高校）に通学する学生	市内 6 施設（美濃太田駅、木沢記念病院、アピタ美濃加茂店、日本昭和村、美濃加茂市役所、総合福祉会館）の利用者	美濃加茂市民
調査方法	配布・回収ともに郵送方式（1 世帯当たり、調査票を 2 部配布）	①バス車内でのヒアリング（東濃鉄道バス八百津線、あい愛バス全線） ②バス車内にカード設置及び車内回収（あい愛予約バス）	バス車内での手渡し配布・郵送回収	配布・回収ともに郵送方式	学校での配布回収	調査員によるヒアリング	懇談会形式
配布票数 回収票数 (回収率)	【配布】 6,000 票 【回収】 1,607 票（26.8%）	【回収】 東濃鉄道バス八百津線：107 票 あい愛バス：316 票 あい愛予約バス：32 票	【配布】 東濃鉄道バス八百津線：59 票 あい愛バス及びあい愛予約バス：109 票 合計：168 票 【回収】 東濃鉄道バス八百津線：15 票（25.4%） あい愛バス及びあい愛予約バス：55 票（50.5%） 合計：73 票（43.4%） （路線不明票を含む）	【配布】 1,175 票 【回収】 640 票（54.5%）	【回収】 加茂高校：113 票 加茂農林高校：117 票 美濃加茂高校：206 票 合計：436 票	【回収】 美濃太田駅：206 票 木沢記念病院：154 票 アピタ美濃加茂店：169 票 日本昭和村：141 票 美濃加茂市役所：114 票 総合福祉会館：69 票 合計：853 票	【参加者数】 12 月 3 日：36 人 12 月 10 日：29 人
主な調査内容	普段の外出実態、送迎実態、公共交通利用状況及び満足度、地域懇談会参加意向、公共交通将来像、公共交通の方向性、費用負担のあり方、個人属性等	利用目的、利用頻度、最終目的地、乗り継ぎ利用実態、往復利用実態、乗降バス停、個人属性等	バス利用実態、利用者満足度、利用意向、バスで行きたい施設、地域懇談会参加意向等	普段の外出実態、バス利用実態、バス利用時の障害、バス利用意向、希望する公共交通サービス、日常生活での活動状況、個人属性等	バス認知度、通学実態、休日の外出実態、バスを便利にするアイデア、地域懇談会参加意向、個人属性等	滞在時間、交通手段、利用頻度、立ち寄り施設、バス認知度、バス利用転換条件、バス利用意向、個人属性等	現状の公共交通（バス）の問題点、将来のまちの姿



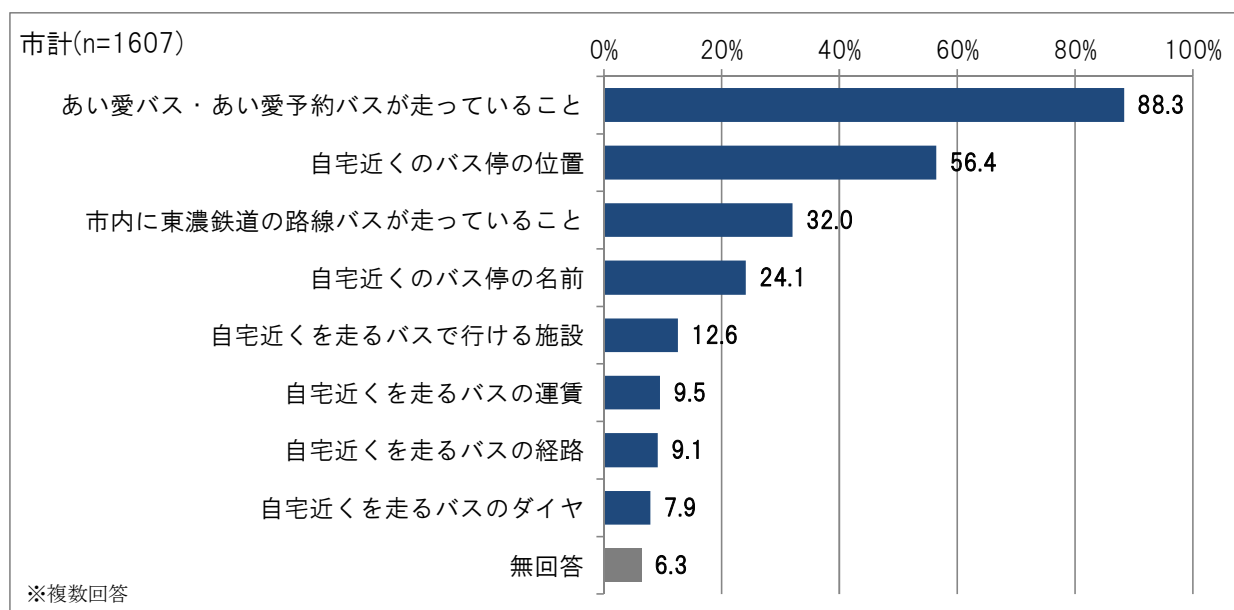
## ②市民アンケートの結果

### (1) バスに関して知っていること【問1⑥】

※複数回答

■いずれの地区も「あい愛バス・あい愛バス予約バスが走っていること」が約88%と最も高い割合を占める。

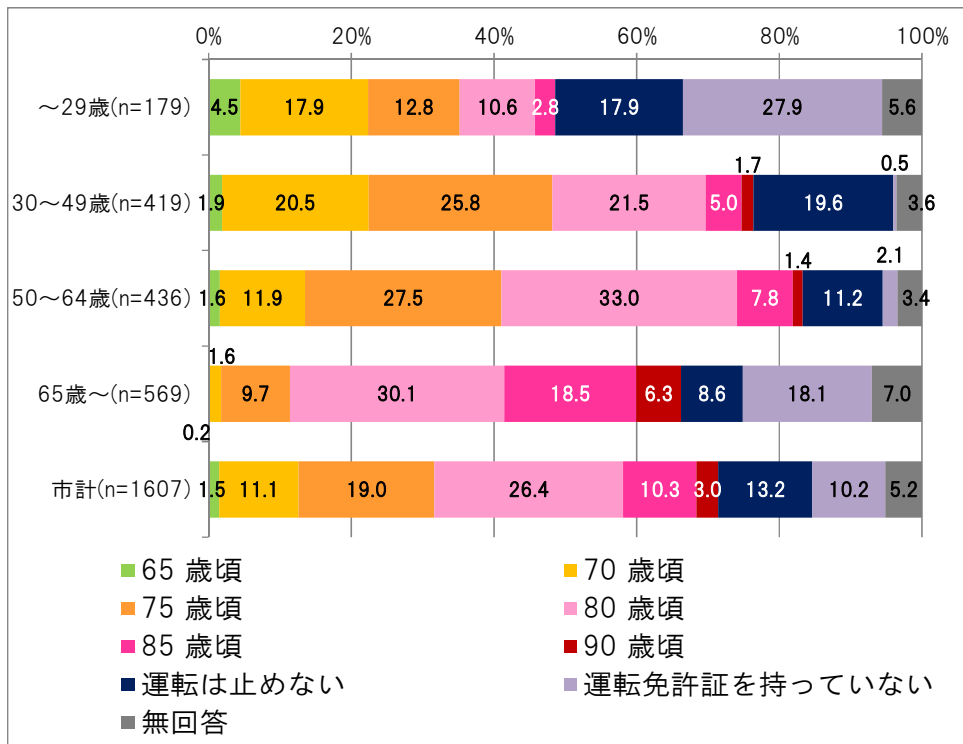
#### ▼バスに関して知っていること



(2) 自動車運転を止めた又は止めようと思う年齢【問1⑩】

■「80歳頃」が約26%と最も高い。「運転は止めない」は約13%存在する。  
 ■65歳以上では、「90歳頃」が約6%存在する。

▼自動車の運転を止めた又は止めようと思う年齢

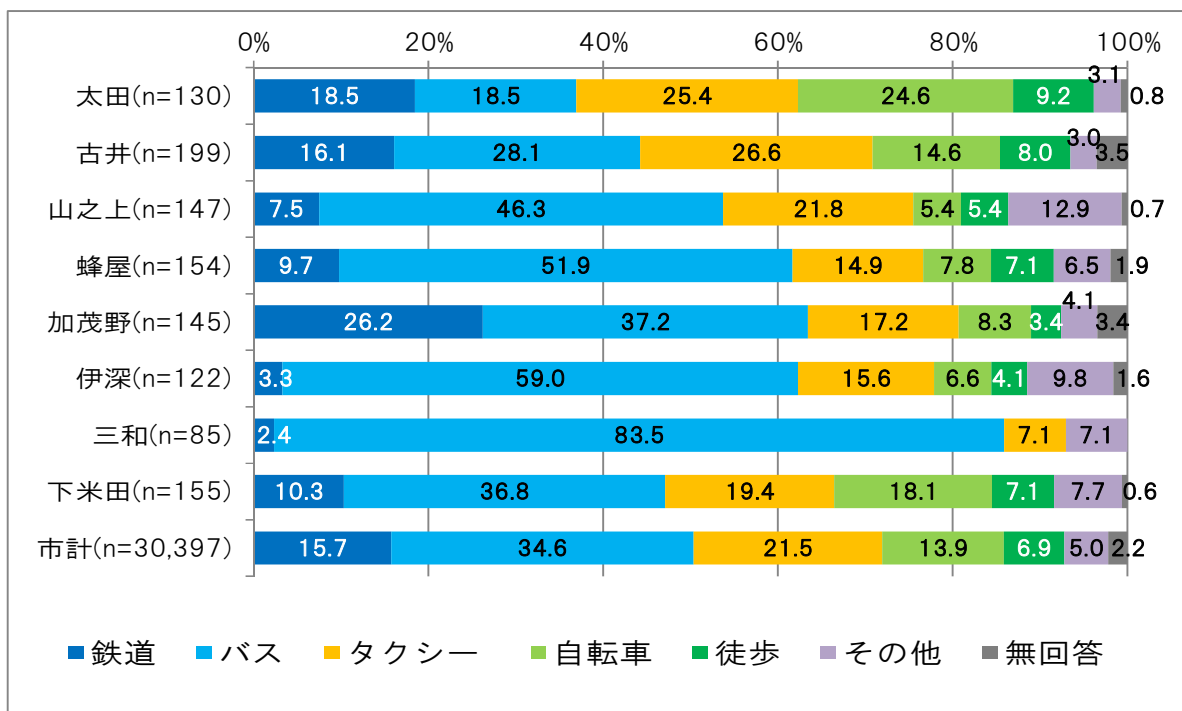


(3) 自動車運転を止めた後に利用している又は利用したい主な移動手段【問1⑪】

※問1⑩で1~6と回答した方のみ

■「バス」が約42%と最も高い割合を占める。  
 ■三和地区では、他地区と比較して「バス」が約84%と高い。

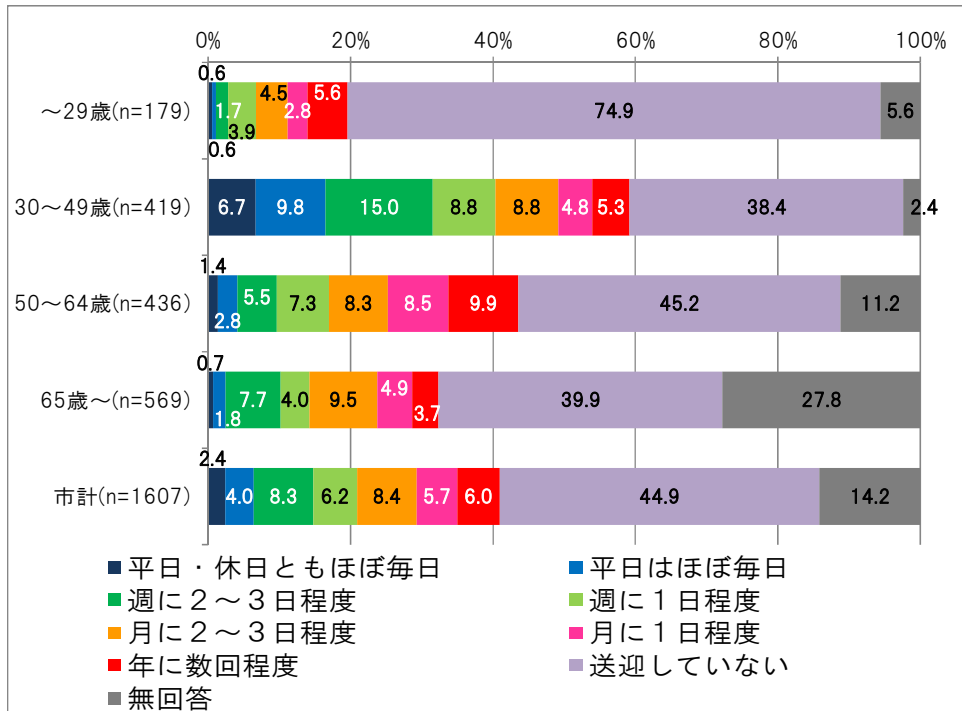
▼自動車運転を止めた後に利用している又は利用したい主な移動手段



**(4) 送迎している頻度【問3①】**

■「送迎していない」が約45%を占める。  
 ■30～49歳以下では、約40%が「週1日以上」の定期的な送迎をしている。

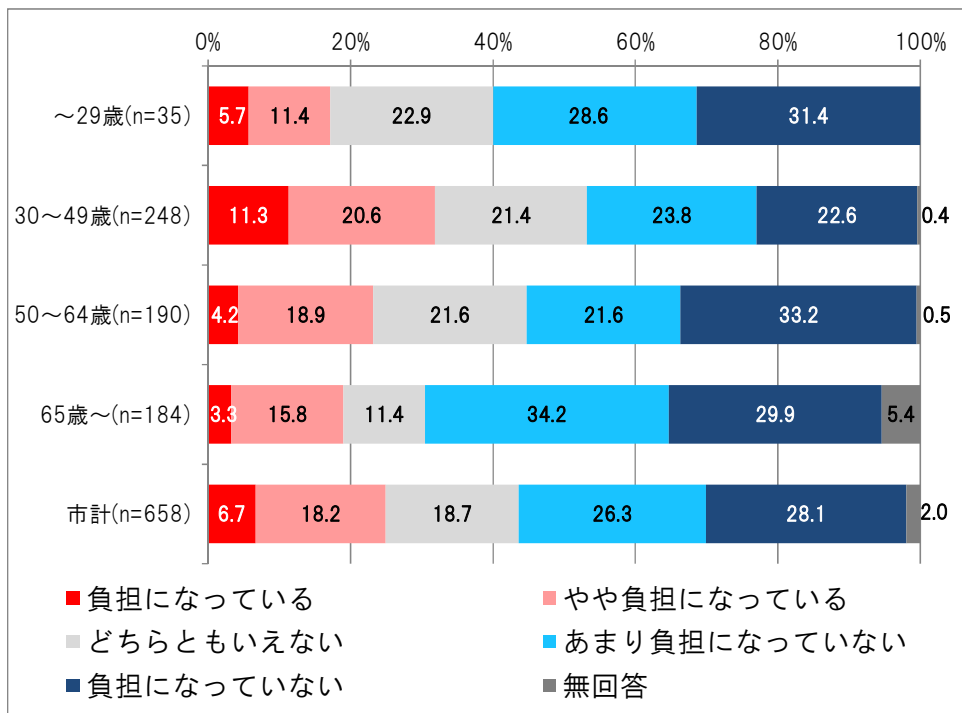
▼送迎している頻度



**(5) 送迎していることについての負担度【問3③】** ※問3①で1～7と回答した方のみ

■「負担になっていない+あまり負担になっていない」約54%が「負担になっている+やや負担になっている」約25%を大きく上回る。  
 ■30～49歳では、「負担になっていない+あまり負担になっていない」が約46%を占めるものの、「負担になっている+やや負担になっている」が約32%存在する。

▼送迎していることについての負担度

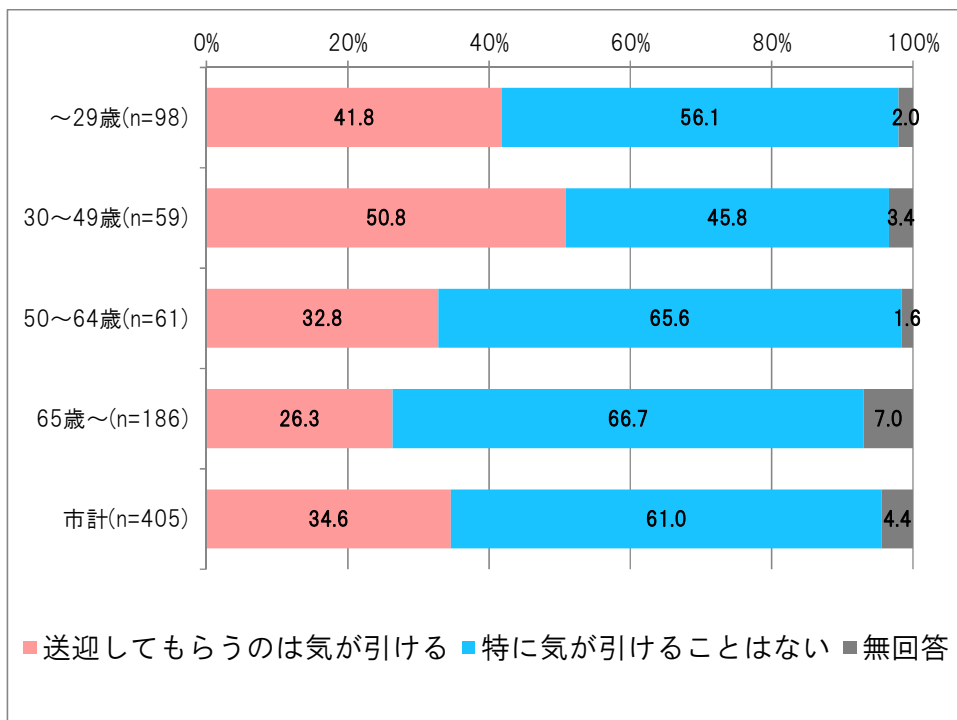
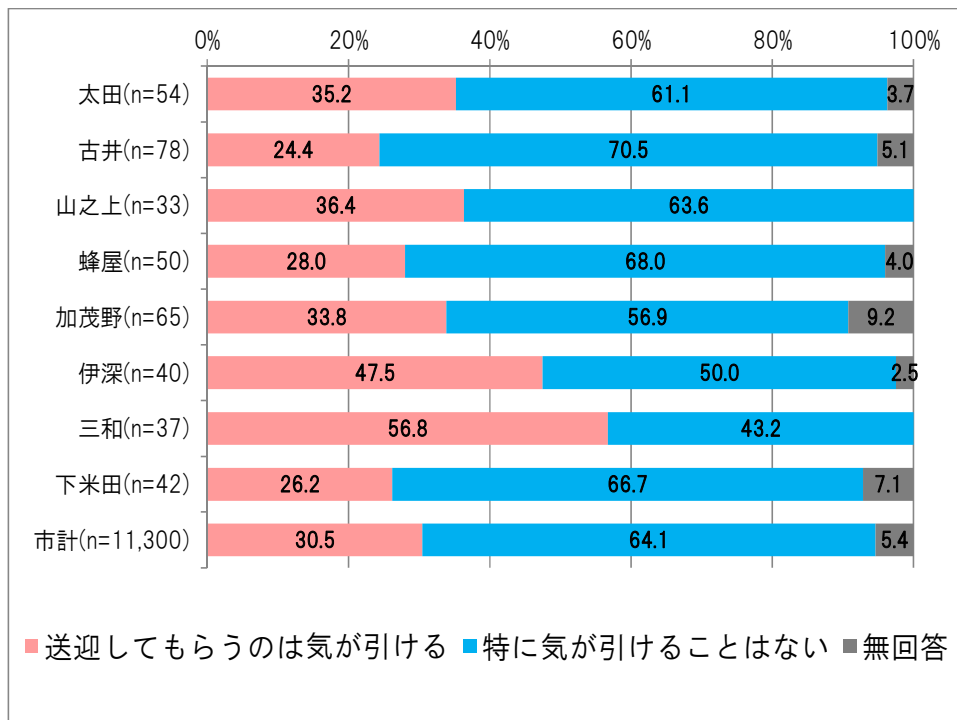


### (6) 送迎してもらっていることについて感じていること【問4③】

※問4①で1~7と回答した方のみ

- 「気が引けることはない」が、約61%を占める。
- 三和地区では、「気が引ける」約57%が「気が引けることはない」約43%を上回る。
- 30~49歳では、「気が引ける」約51%が「気が引けることはない」約46%を上回る。

▼送迎してもらっていることについて感じていること

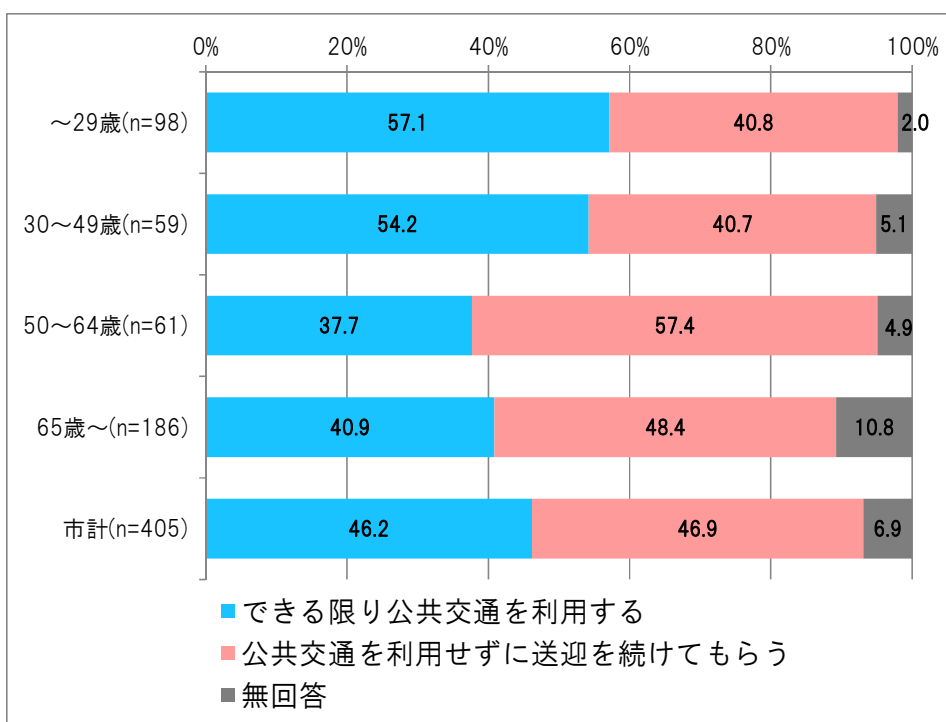
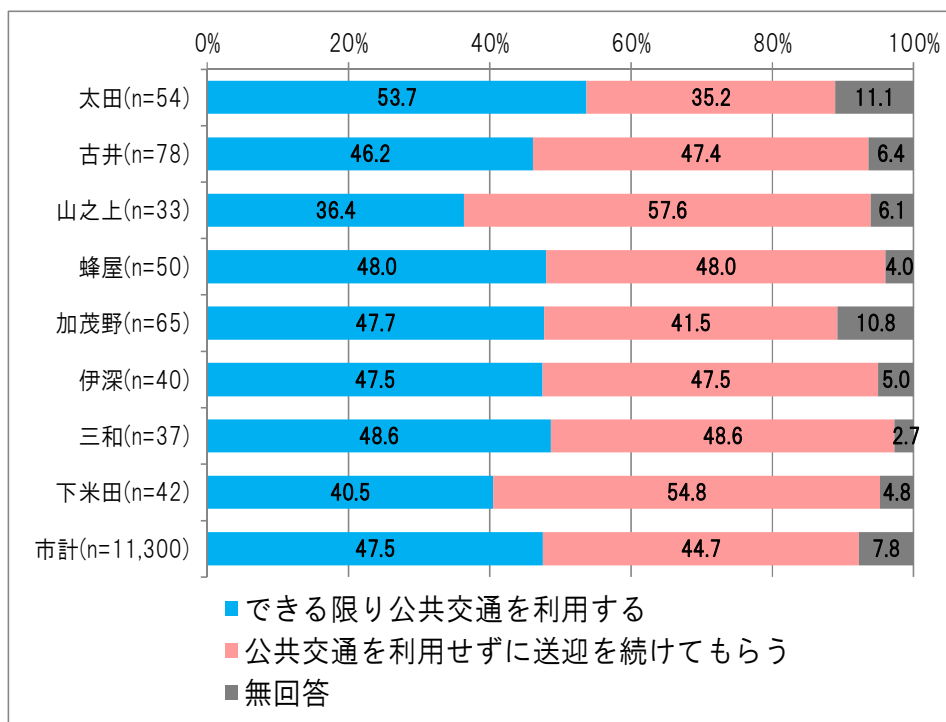


**(7) 送迎してもらっている方の公共交通を利用できる場合の対応【問4④】**

※問4①で1~7と回答した方のみ

- 「公共交通を利用する」と「送迎を続けてもらう」は同程度の割合を占める。
- 古井地区、山之上地区、下米田地区では、「送迎を続けてもらう」が「公共交通を利用する」を上回る。
- 29歳以下、30~49歳以下では、「公共交通を利用する」が約54~57%を占める。

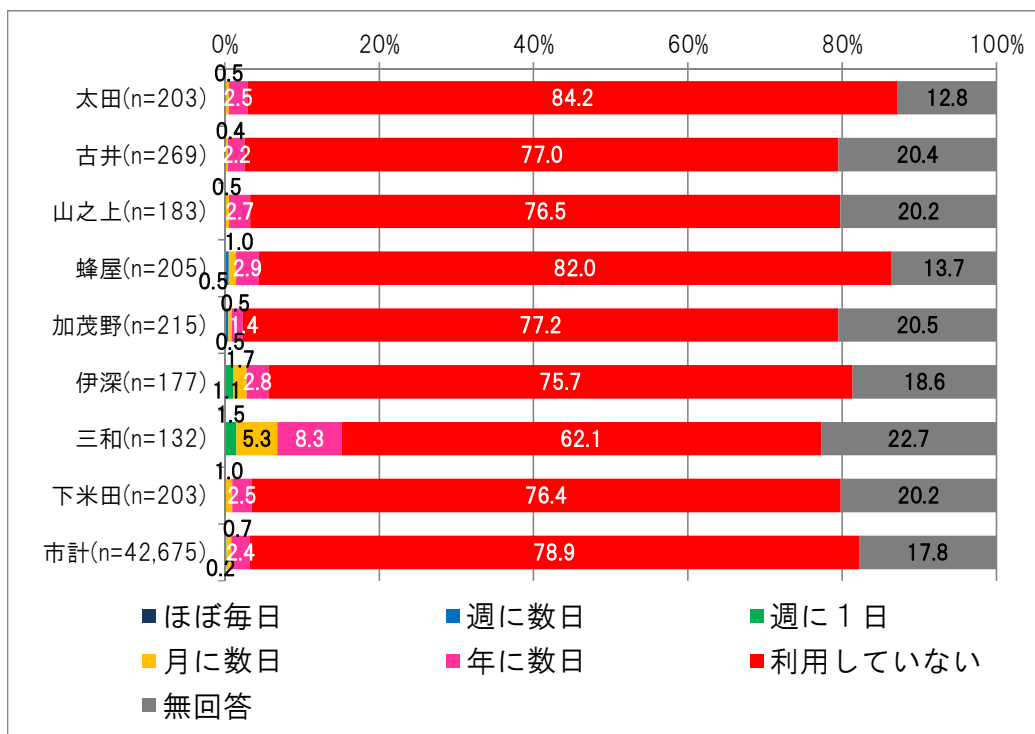
▼公共交通を利用できる場合の対応



### (8) あい愛バスの利用頻度【問5①】

- 「利用していない」が約77%と最も高い。
- 三和地区では、「利用している」が約15%を占める。

▼あい愛バスの利用頻度

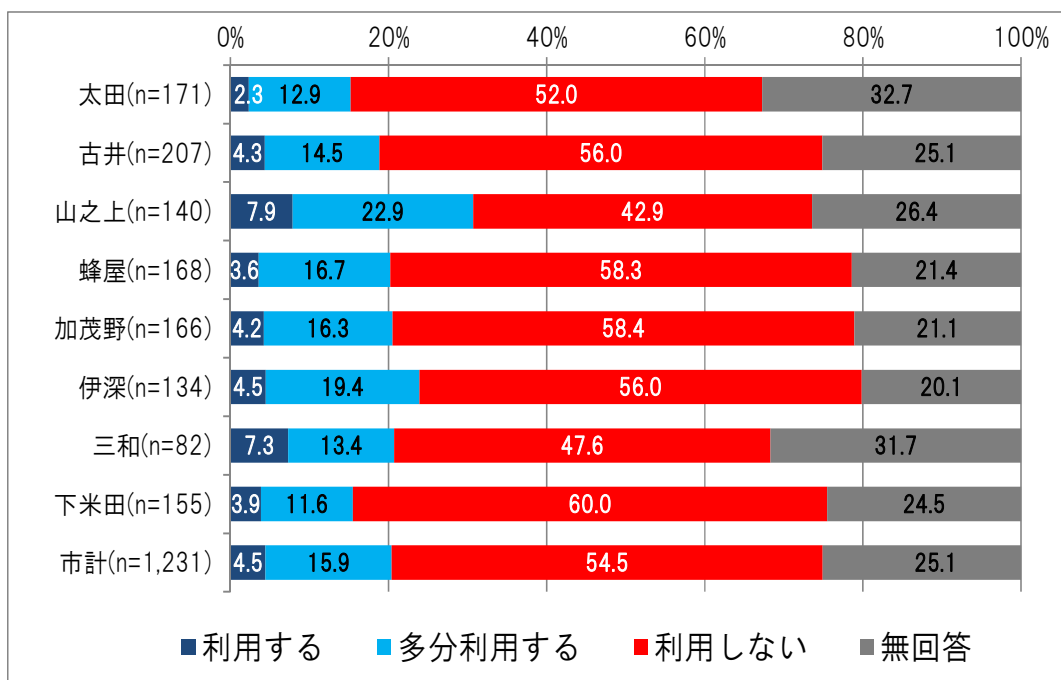


### (9) あい愛バス非利用者の今後の利用意向【問5④-2】

※問5①で6と回答した方のみ（非利用者）

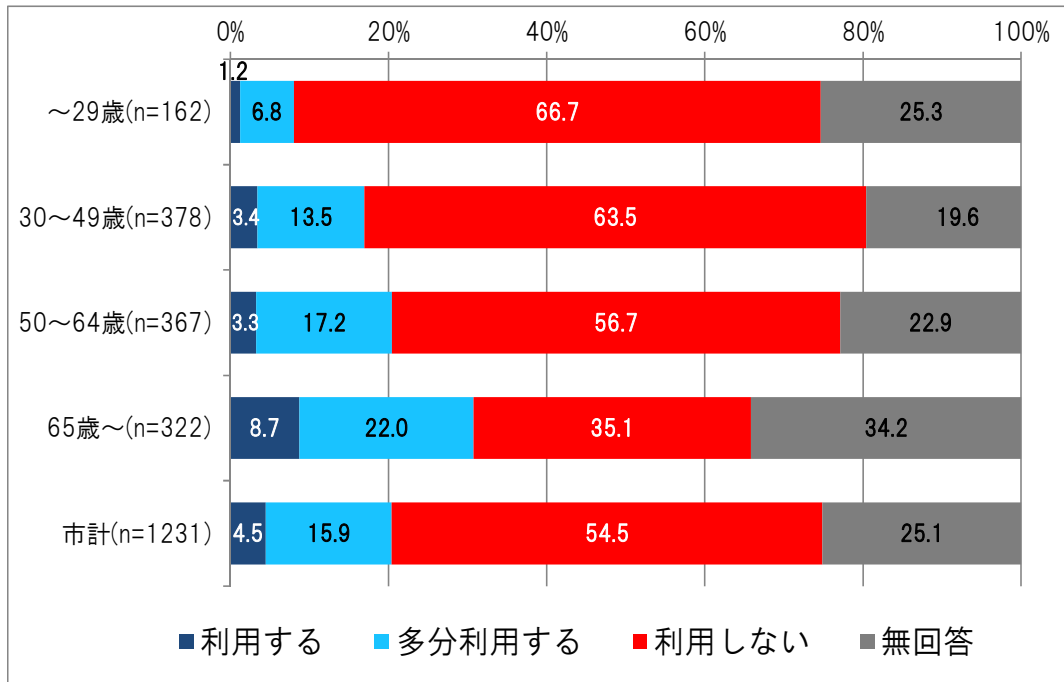
- 「利用しない」が約55%と最も高い。
- 山之上地区では、「利用する+多分利用する」が約31%と高い割合を占める。
- 65歳以上では、「利用する+多分利用する」が約31%を占める。

▼あい愛バスの今後の利用意向（1/2）





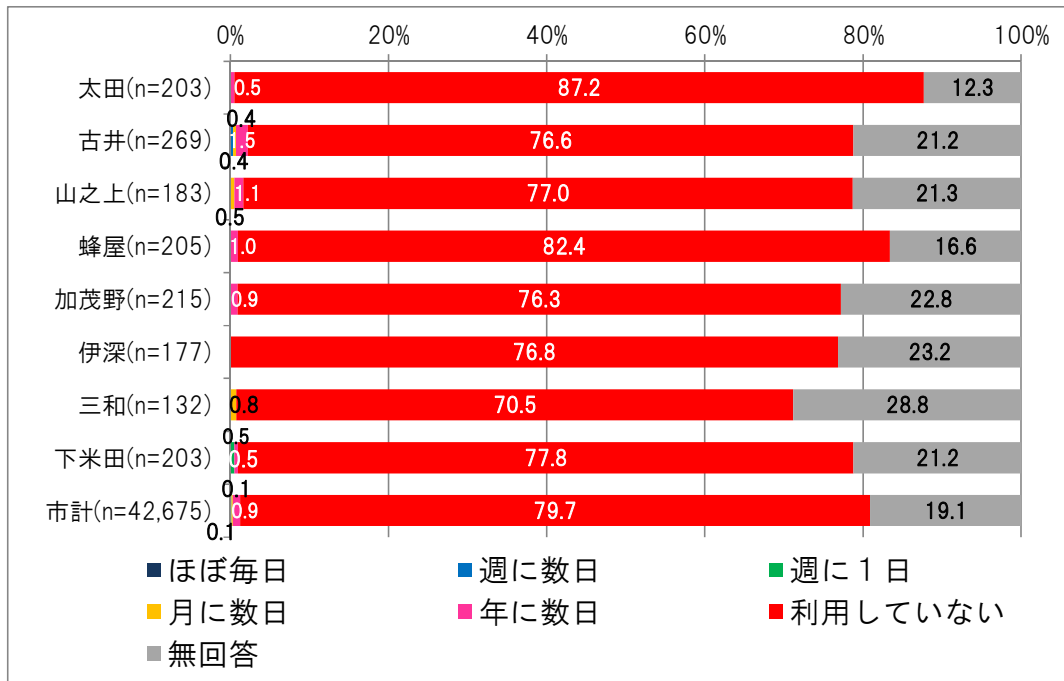
▼あい愛バスの今後の利用意向 (2/2)



(10) あい愛予約バスの利用頻度【問5①】

- 「利用していない」が約78%と最も高い。
- 太田地区では、「利用していない」が約87%と高い割合を占める。

▼あい愛予約バスの利用頻度

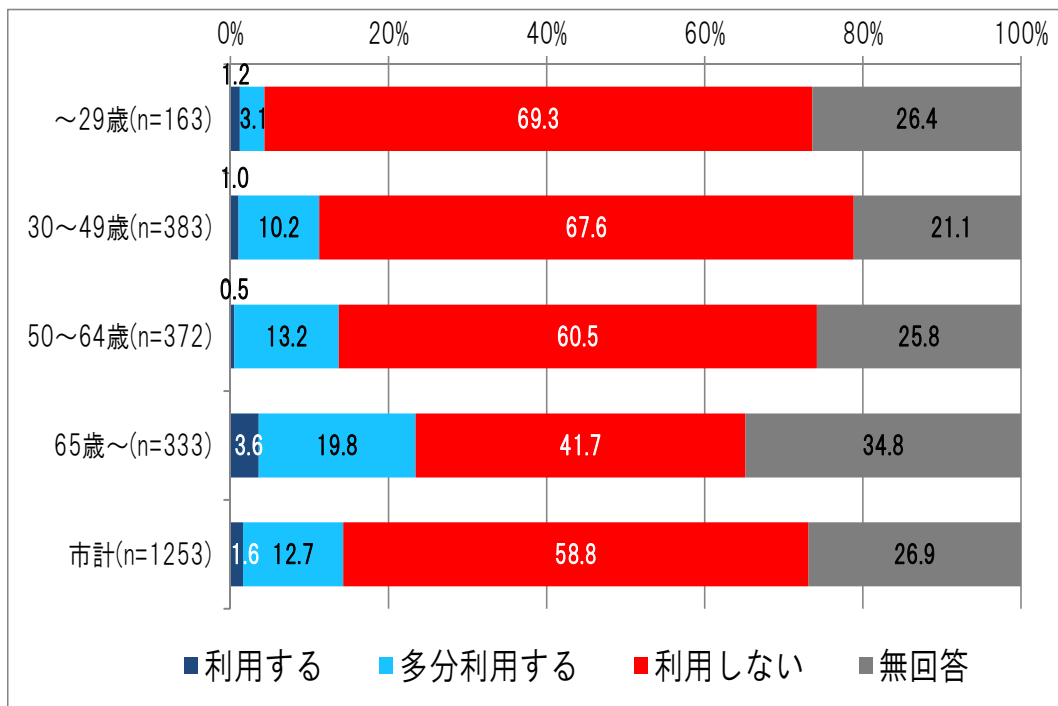


### (11) あい愛予約バスの非利用者の今後の利用意向【問5④-2】

※問5①で6と回答した方のみ（非利用者）

■「利用しない」が約59%と最も高い。  
 ■65歳以上では、「利用する+多分利用する」が約23%を占める。

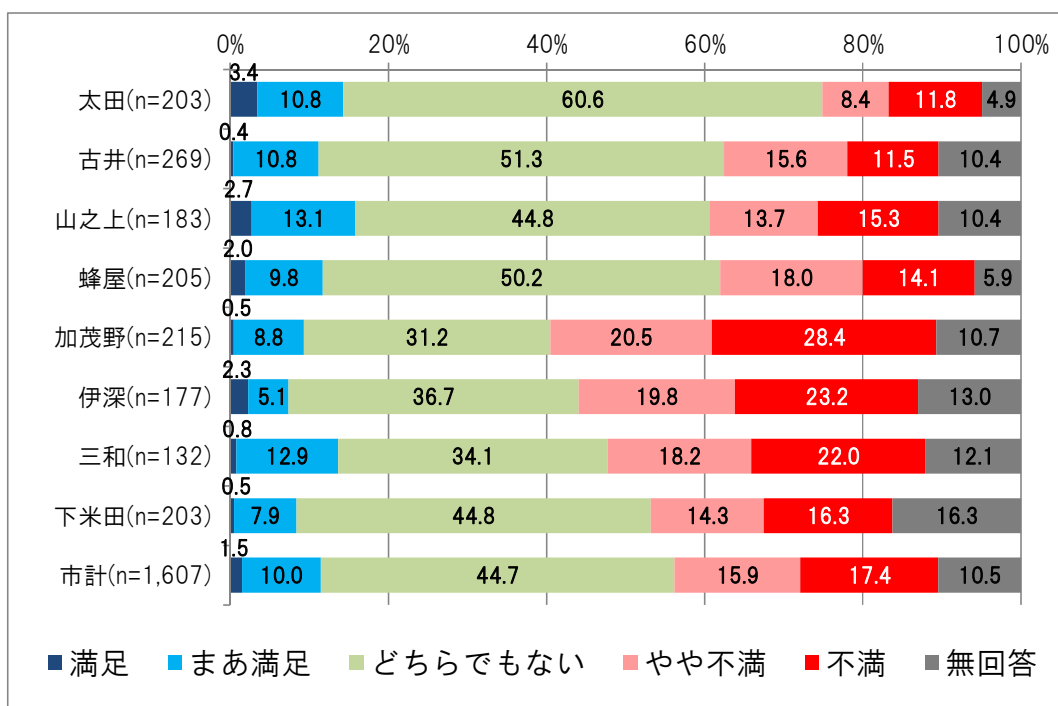
▼あい愛予約バスの今後の利用意向



### (12) 公共交通全体の満足度【問6】

■満足度割合（満足+まあ満足）約33%が、不満度割合（やや不満+不満）約12%を上回る。  
 ■加茂野地区、伊深地区、三和地区では、不満度割合（満足+まあ満足）が約40～49%と高い割合を占める。

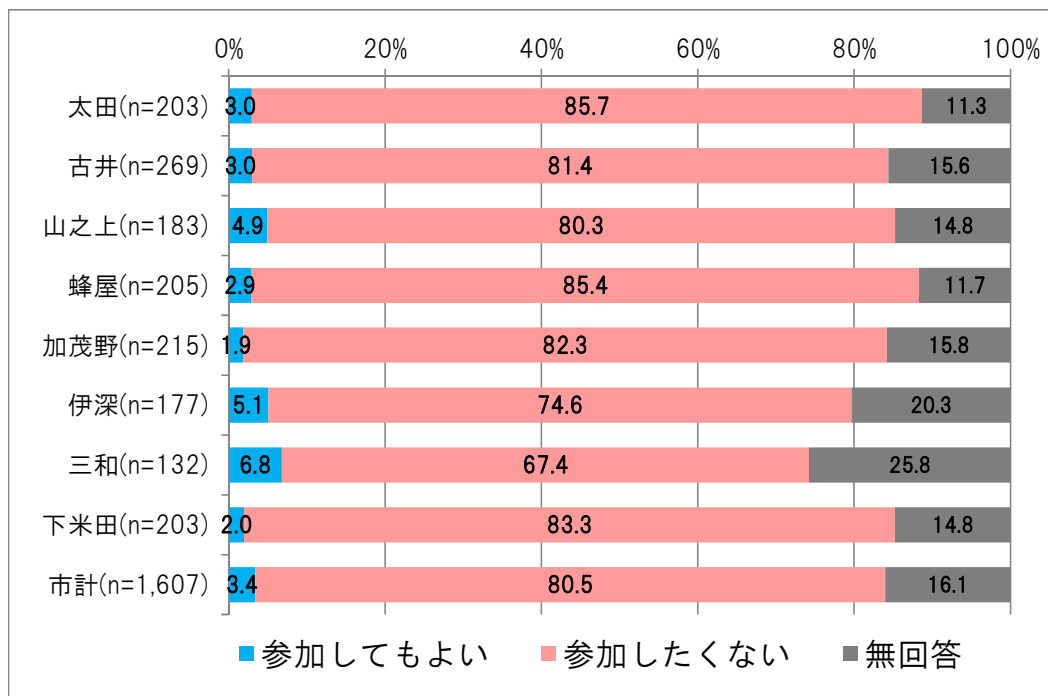
▼公共交通全体の満足度



### (13) 意見交換会を目的とした地域懇談会への参加意向【問7】

- 「参加したくない」が、約81%を占める。
- 三和地区では、「参加してもよい」が約7%存在する。

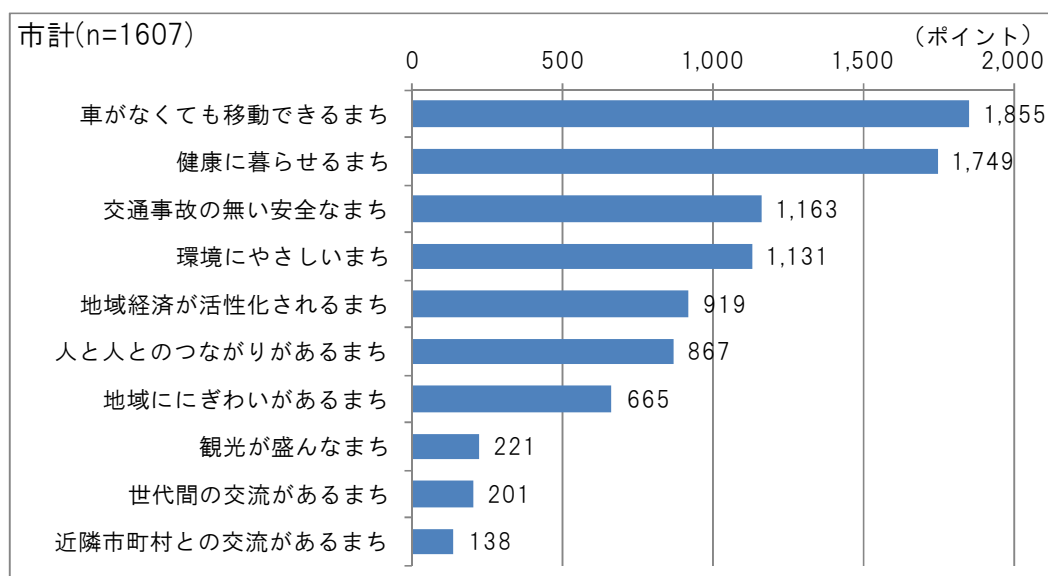
▼意見交換会を目的とした地域懇談会への参加意向



### (14) 優先したいと思う「美濃加茂市の将来のまちの姿」について【問8】

- 「車がなくても移動できるまち」が、最も優先度が高く、次いで、「健康に暮らせるまち」となっている。

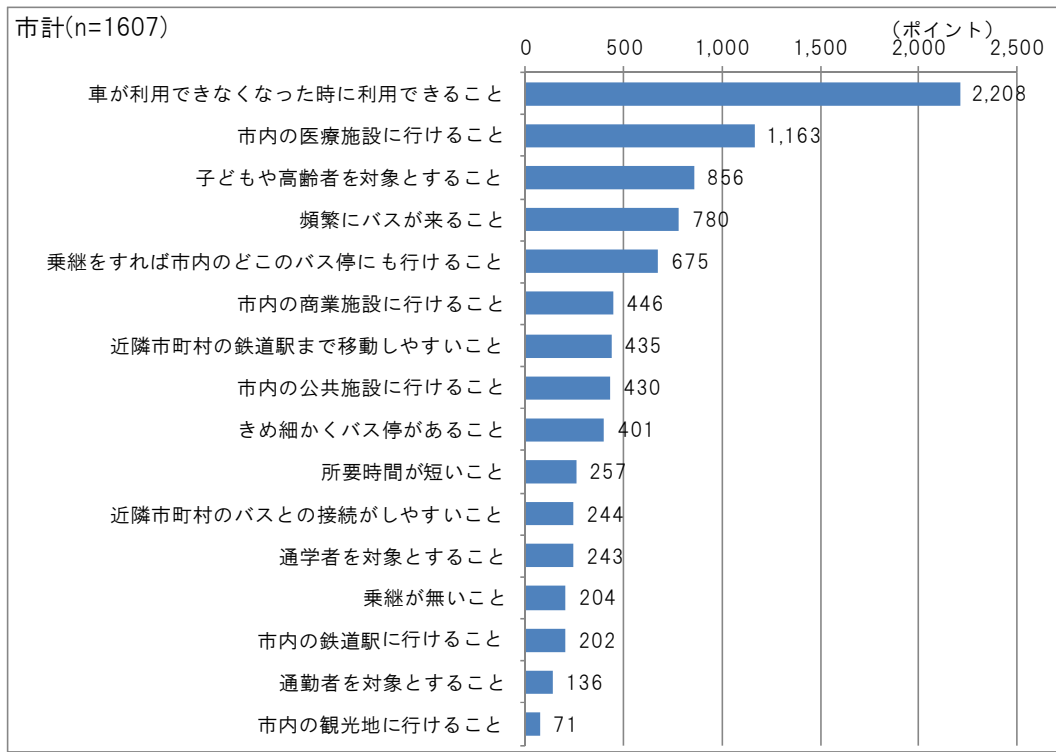
▼優先したいと思う「美濃加茂市の将来のまちの姿」



(15) 将来のまちの姿の実現のために優先したいと思う「今後の公共交通の方向性」について【問9】

■「車が利用できなくなった時に利用できること」が圧倒的に優先度が高い。  
 ■いずれの地区も同様の結果となっている。

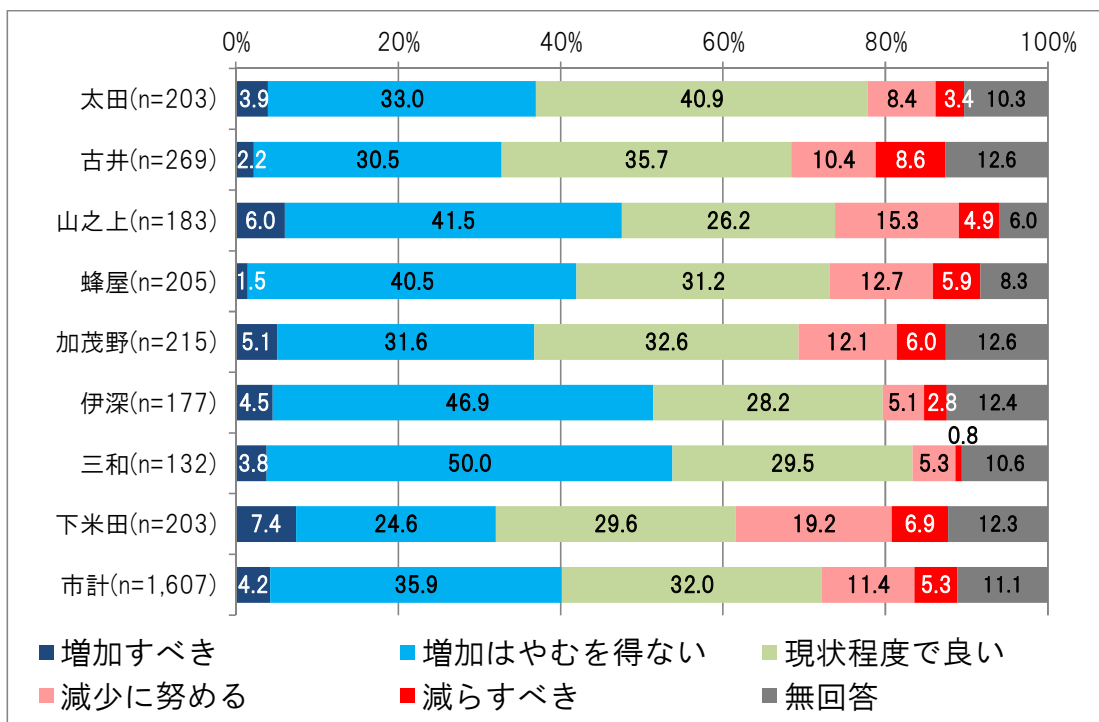
▼優先したいと思う「今後の公共交通の方向性」



(16) 公共交通への費用負担についての考え【問10】

■「増加すべき+増加はやむを得ない」約40%が、「減少に努める+減らすべき」約17%を大幅に上回る。  
 ■伊深地区、三和地区は、「増加すべき+増加はやむを得ない」が約51~54%と高い割合を占める。

▼公共交通への費用負担についての考え

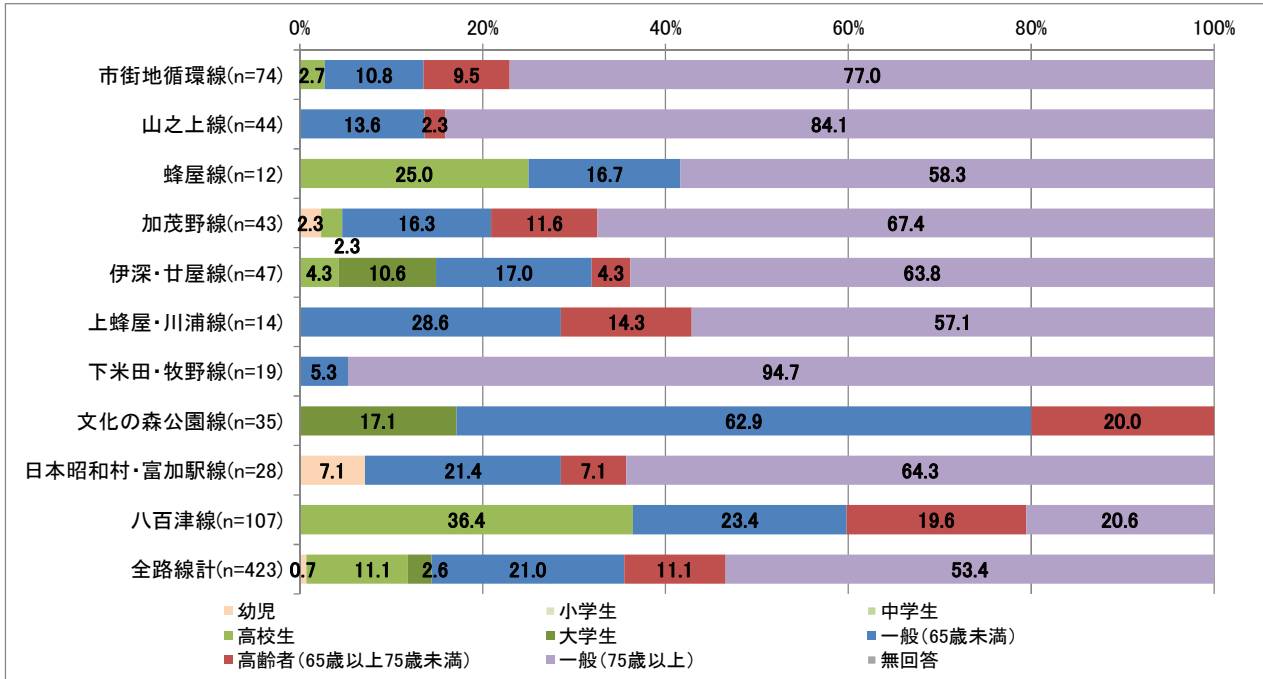


### ③乗降調査の結果

#### (1) 年齢

- 文化の森公園線と八百津線を除く路線では、75歳以上の利用が多くを占めている。
- 蜂屋線、八百津線では高校生の回答割合が高い。

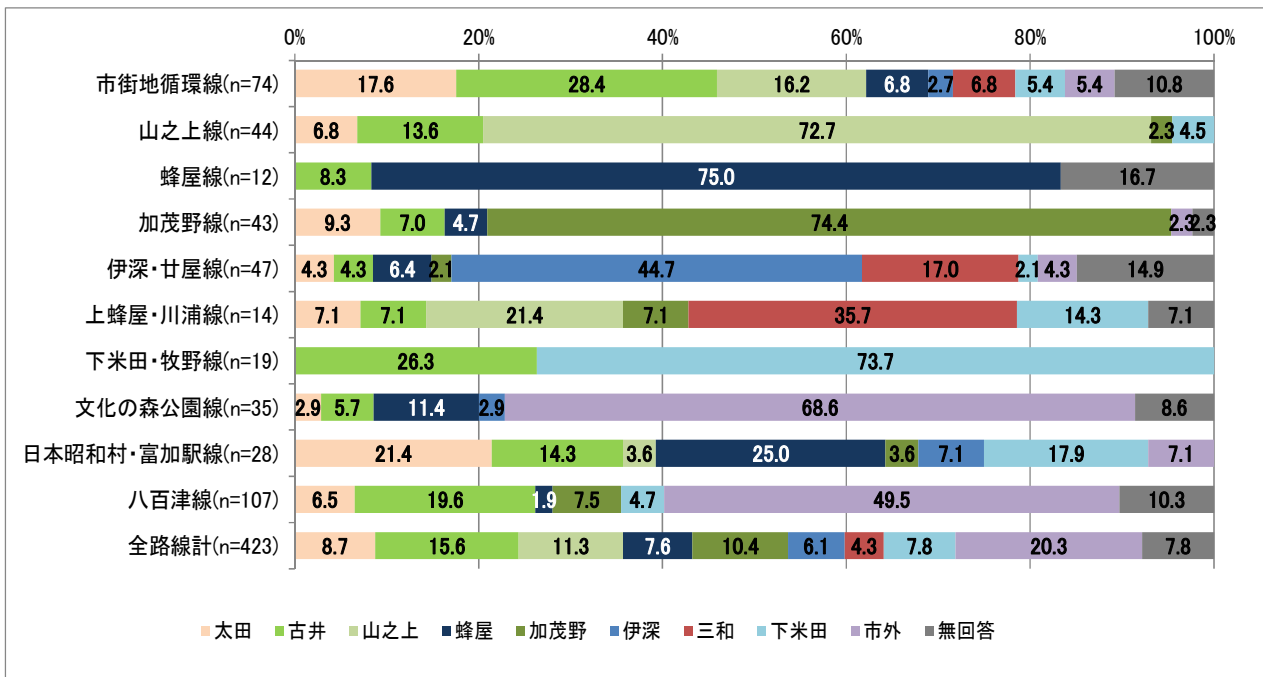
▼年齢



#### (2) 居住地

- 市街地循環、日本昭和村・富加駅線は様々な居住地からの回答者が多い。
- 文化の森公園線、八百津線は市外の回答者が多い。

▼居住地

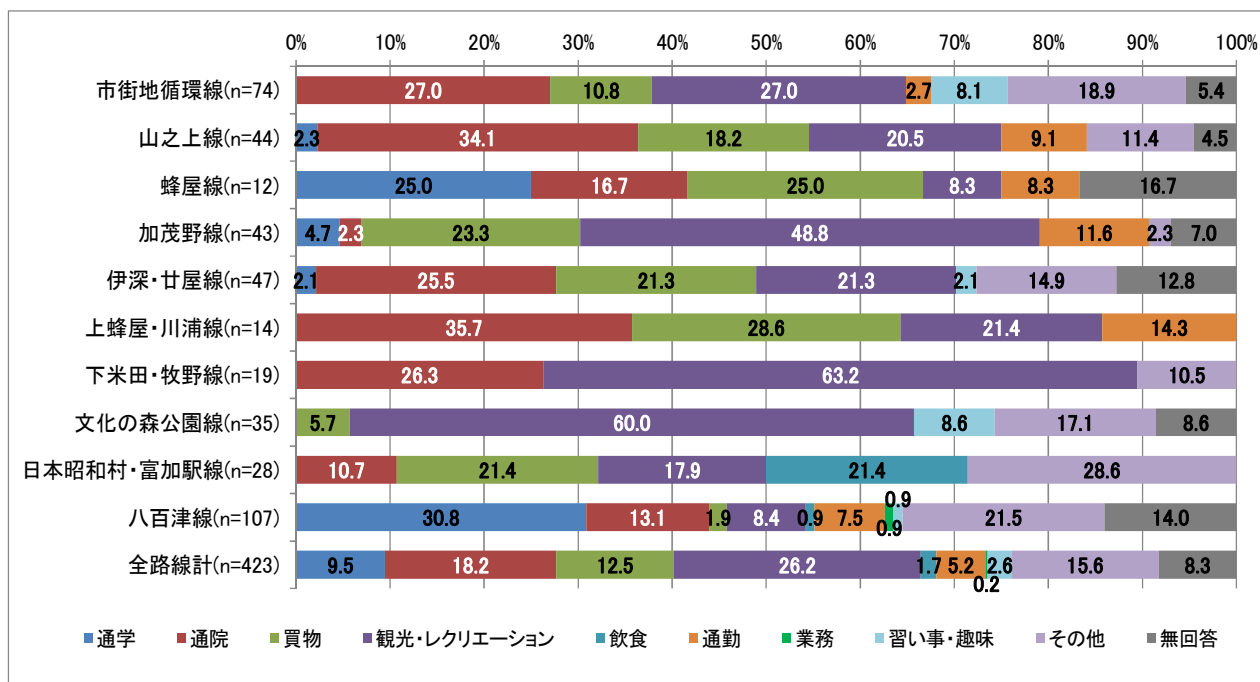


### (3) バスの利用目的

■路線により利用目的が多様である。

■下米田・牧野線、文化の森公園線は観光・レクリエーション目的の利用が多い。

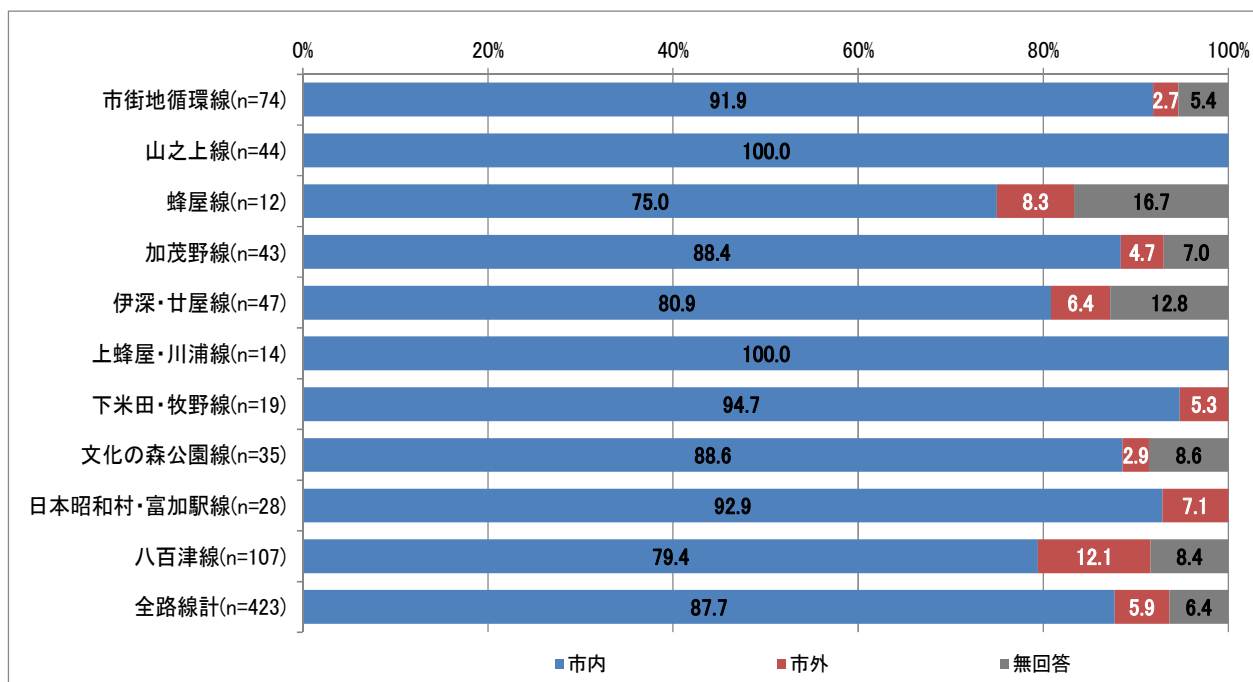
▼利用目的



### (4) バス利用時の最終目的地

■路線によらず最終目的地の多くが市内となっている。

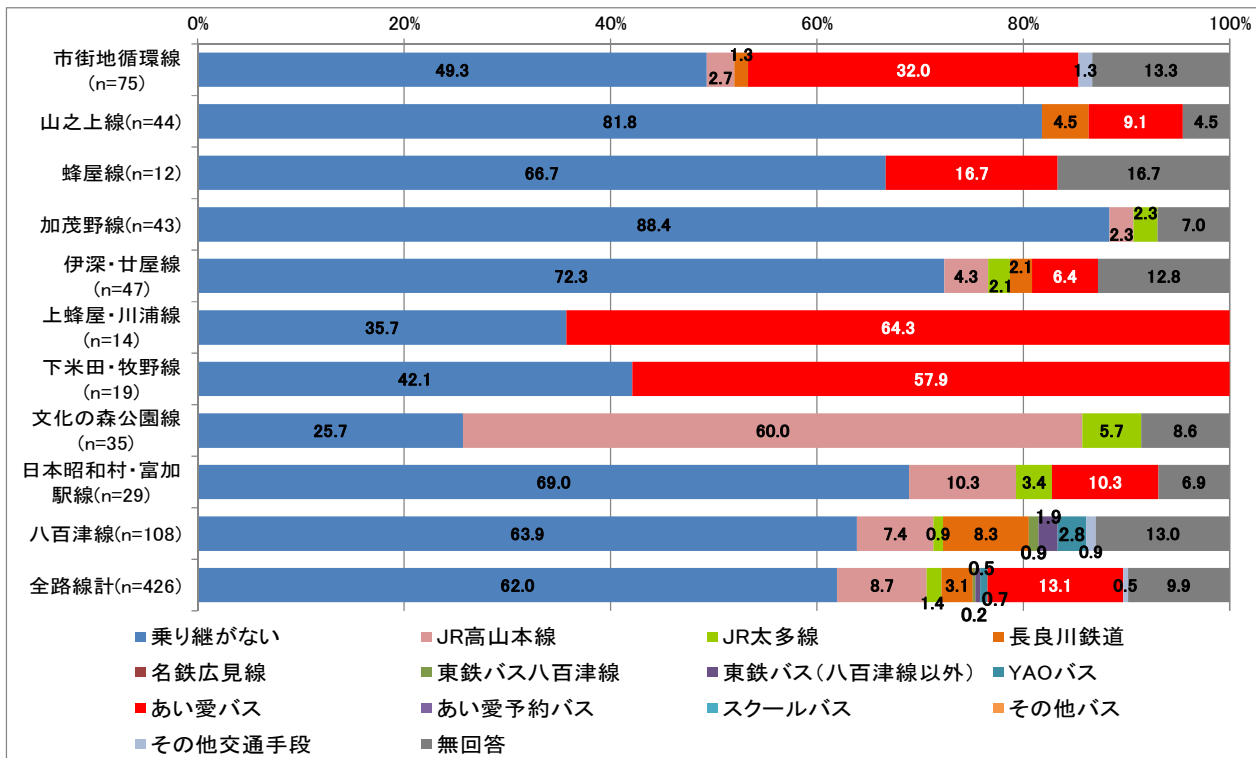
▼最終目的地



### (5) 乗り継ぎ利用

■市外循環線、下米田・牧野線、文化の森公園線、上蜂屋・川浦線は乗り継ぎ利用が多い。

▼乗り継ぎ状況



### (6) 乗り継ぎ路線

■市街地循環線利用回答者の多くが、あい愛バスに乗り継いでいる。

■下米田・牧野線利用回答者の多くが、あい愛バスに乗り継いでいる。

■上蜂屋・川浦線利用回答者の多くが、あい愛バスに乗り継いでいる。

■文化の森公園線利用回答者の多くが、JR 高山本線に乗り継いでいる。

▼乗り継ぎ路線

#### 市街地循環線

	利用者	割合
JR高山本線	2	7.1%
JR太多線		
長良川鉄道	1	3.6%
名鉄広見線		
東鉄バス八百津線		
東鉄バス(八百津線以外)		
YAOバス		
あい愛バス	24	85.7%
あい愛予約バス		
スクールバス		
その他バス		
その他	1	3.6%
合計	28	100.0%

#### 山之上線

	利用者	割合
JR高山本線		
JR太多線		
長良川鉄道	2	33.3%
名鉄広見線		
東鉄バス八百津線		
東鉄バス(八百津線以外)		
YAOバス		
あい愛バス	4	66.7%
あい愛予約バス		
スクールバス		
その他バス		
その他		
合計	6	100.0%

蜂屋線

	利用者	割合
JR高山本線		
JR太多線		
長良川鉄道		
名鉄広見線		
東鉄バス八百津線		
東鉄バス(八百津線以外)		
YAOバス		
あい愛バス	2	100.0%
あい愛予約バス		
スクールバス		
その他バス		
その他		
合計	2	100.0%

加茂野線

	利用者	割合
JR高山本線	1	50.0%
JR太多線	1	50.0%
長良川鉄道		
名鉄広見線		
東鉄バス八百津線		
東鉄バス(八百津線以外)		
YAOバス		
あい愛バス		
あい愛予約バス		
スクールバス		
その他バス		
その他		
合計	2	100.0%

伊深・廿屋線

	利用者	割合
JR高山本線	2	28.6%
JR太多線	1	14.3%
長良川鉄道	1	14.3%
名鉄広見線		
東鉄バス八百津線		
東鉄バス(八百津線以外)		
YAOバス		
あい愛バス	3	42.9%
あい愛予約バス		
スクールバス		
その他バス		
その他		
合計	7	100.0%

上蜂屋・川浦線

	利用者	割合
JR高山本線		
JR太多線		
長良川鉄道		
名鉄広見線		
東鉄バス八百津線		
東鉄バス(八百津線以外)		
YAOバス		
あい愛バス	9	100.0%
あい愛予約バス		
スクールバス		
その他バス		
その他		
合計	9	100.0%

下米田・牧野線

	利用者	割合
JR高山本線		
JR太多線		
長良川鉄道		
名鉄広見線		
東鉄バス八百津線		
東鉄バス(八百津線以外)		
YAOバス		
あい愛バス	11	100.0%
あい愛予約バス		
スクールバス		
その他バス		
その他		
合計	11	100.0%

文化の森公園線

	利用者	割合
JR高山本線	21	91.3%
JR太多線	2	8.7%
長良川鉄道		
名鉄広見線		
東鉄バス八百津線		
東鉄バス(八百津線以外)		
YAOバス		
あい愛バス		
あい愛予約バス		
スクールバス		
その他バス		
その他		
合計	23	100.0%



日本昭和村・富加駅線

	利用者	割合
JR高山本線	3	42.9%
JR太多線	1	14.3%
長良川鉄道		
名鉄広見線		
東鉄バス八百津線		
東鉄バス(八百津線以外)		
YAOバス		
あい愛バス	3	42.9%
あい愛予約バス		
スクールバス		
その他バス		
その他		
合計	7	100.0%

八百津線

	利用者	割合
JR高山本線	8	32.0%
JR太多線	1	4.0%
長良川鉄道	9	36.0%
名鉄広見線		
東鉄バス八百津線	1	4.0%
東鉄バス(八百津線以外)	2	8.0%
YAOバス	3	12.0%
あい愛バス		
あい愛予約バス		
スクールバス		
その他バス		
その他	1	4.0%
合計	25	100.0%

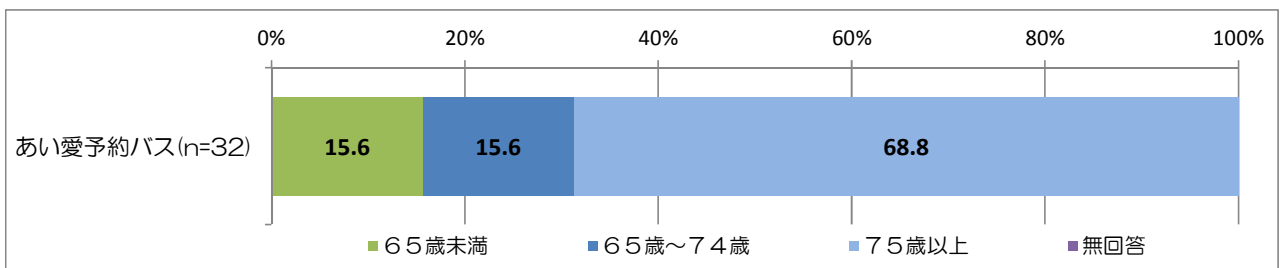
全路線計

	利用者	割合
JR高山本線	37	30.8%
JR太多線	6	5.0%
長良川鉄道	13	10.8%
名鉄広見線		
東鉄バス八百津線	1	0.8%
東鉄バス(八百津線以外)	2	1.7%
YAOバス	3	2.5%
あい愛バス	56	46.7%
あい愛予約バス		
スクールバス		
その他バス		
その他	2	1.7%
合計	120	100.0%

(7) あい愛予約バス利用者の年齢

■75歳以上の利用が7割弱を占める。

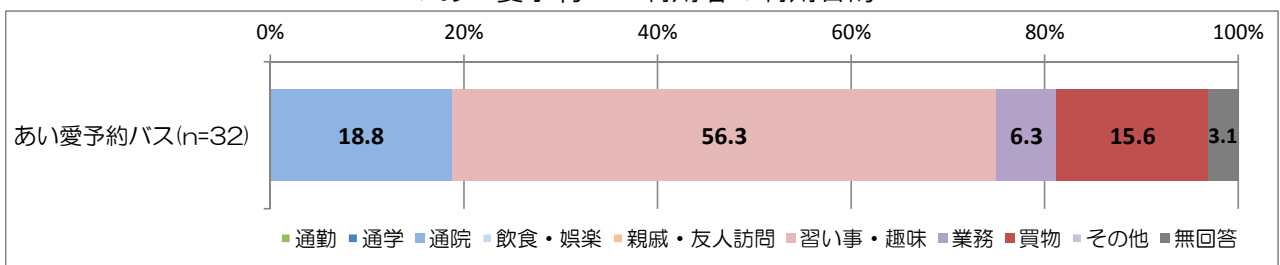
▼あい愛予約バス利用者の年齢



(8) あい愛予約バス利用者の利用目的

■利用目的は、習い事・趣味が6割弱を占める。

▼あい愛予約バス利用者の利用目的

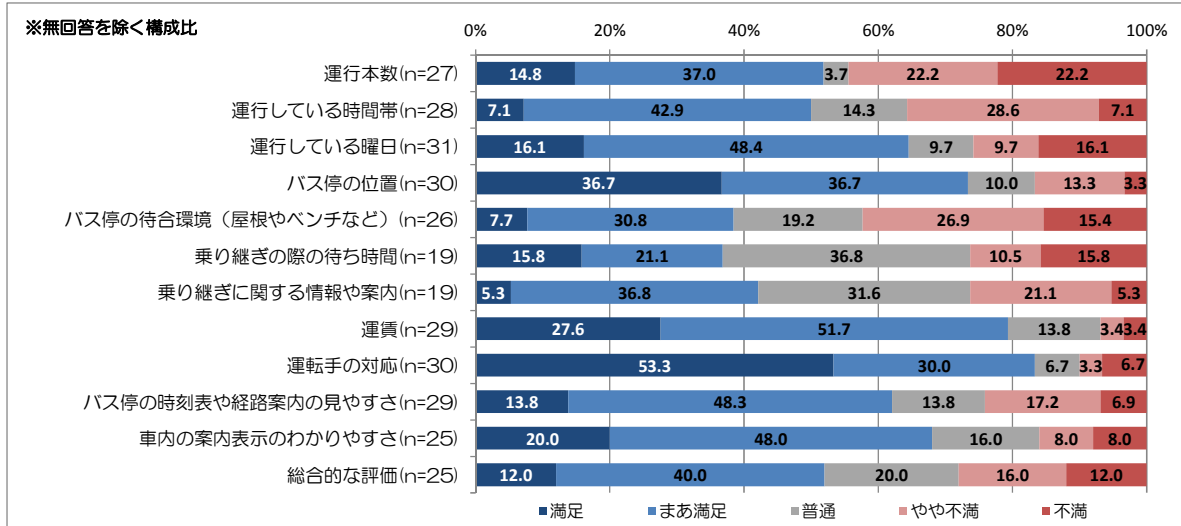


## ④バス利用者アンケート調査の詳細結果

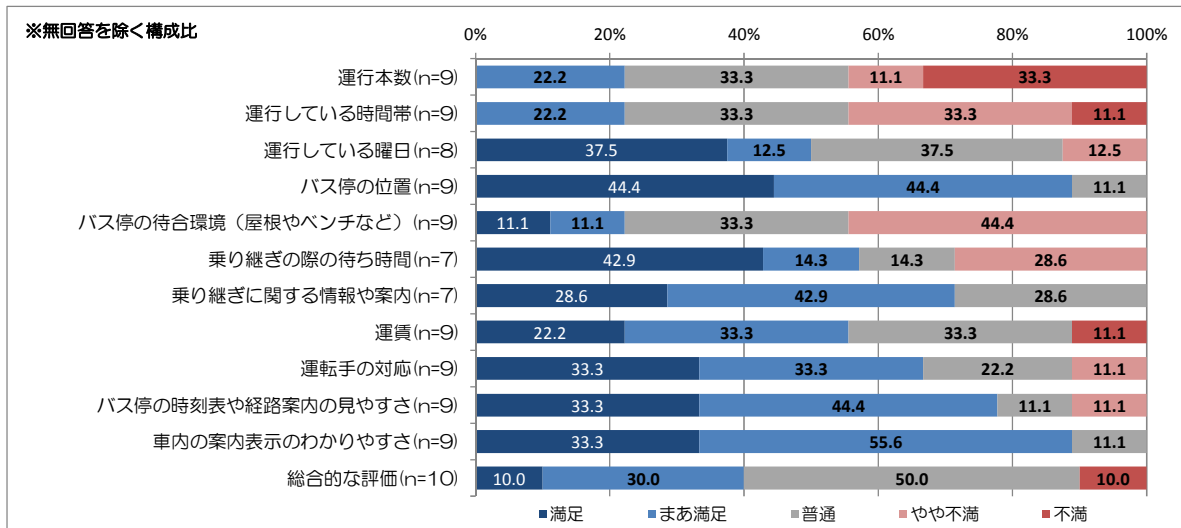
### (1) 利用したバス路線について感じている「現状の満足度」【問3】

- あい愛バスの運転手の対応、運賃、バス停位置の満足度割合（満足+まあ満足）は7割を超える。
- バス全体の満足度割合（満足+まあ満足）が、不満度割合（やや不満+不満）を上回る。

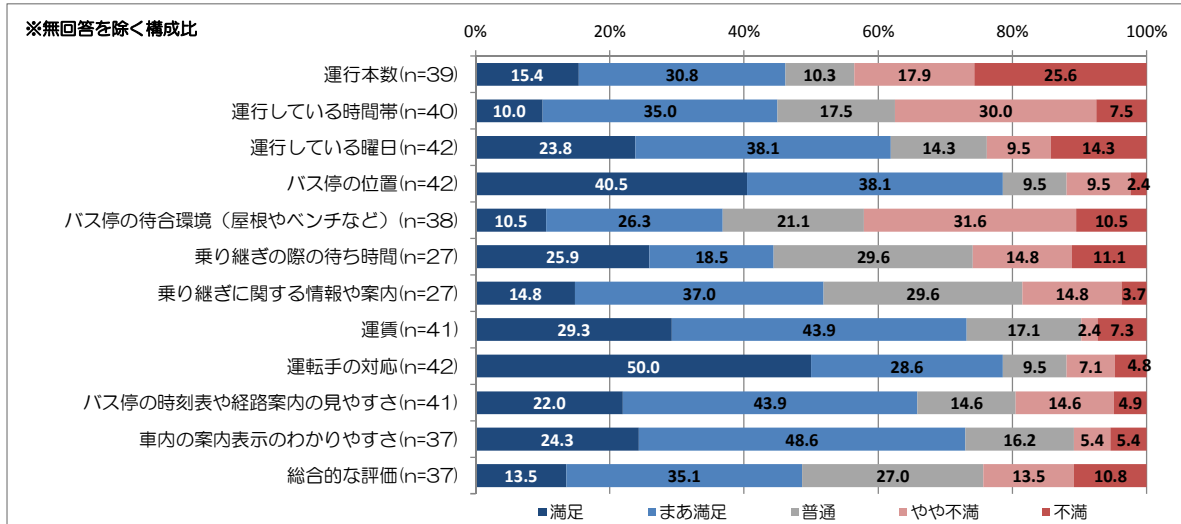
#### ▼満足度（あい愛バス）



#### ▼満足度（東濃鉄道バス）



#### ▼満足度（バス全体）

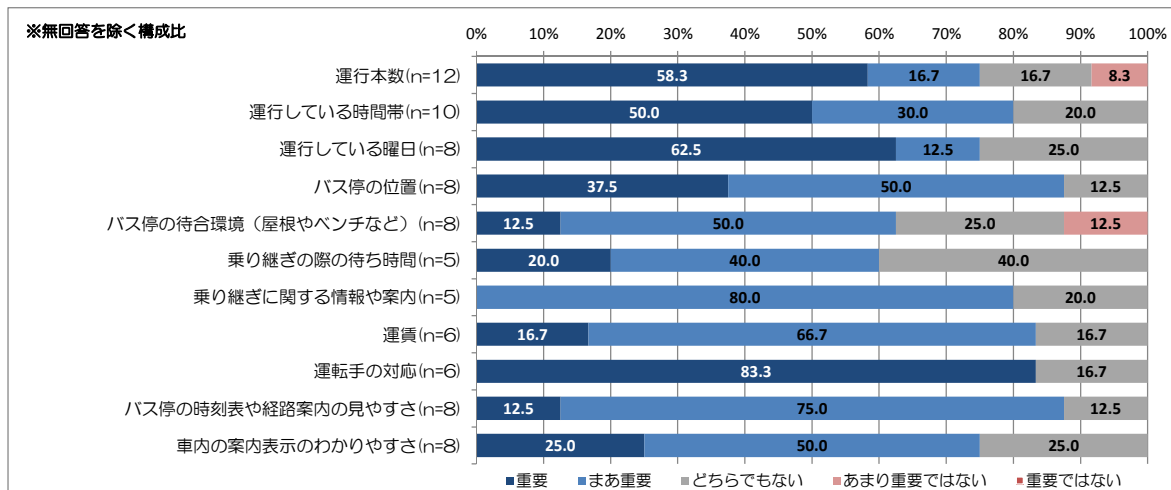


## (2) 利用したバス路線について感じている「これからの重要度」【問3】

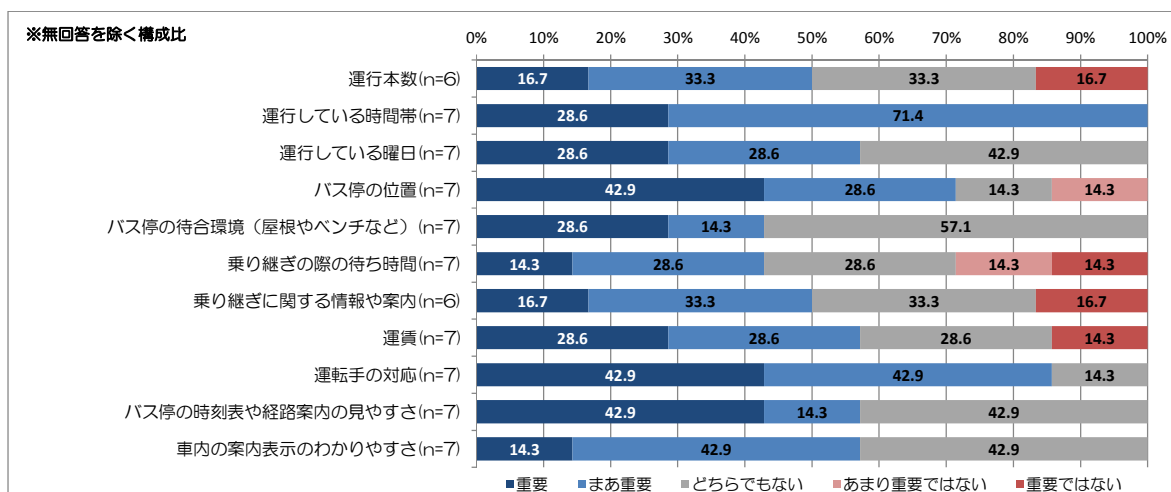
■バス全体の運行している時間帯と運転手の対応の重要度割合（重要+まあ重要）は8割前後である。

■バス全体の乗り継ぎの際の待ち時間の重要度割合（重要+まあ重要）は5割に満たない。

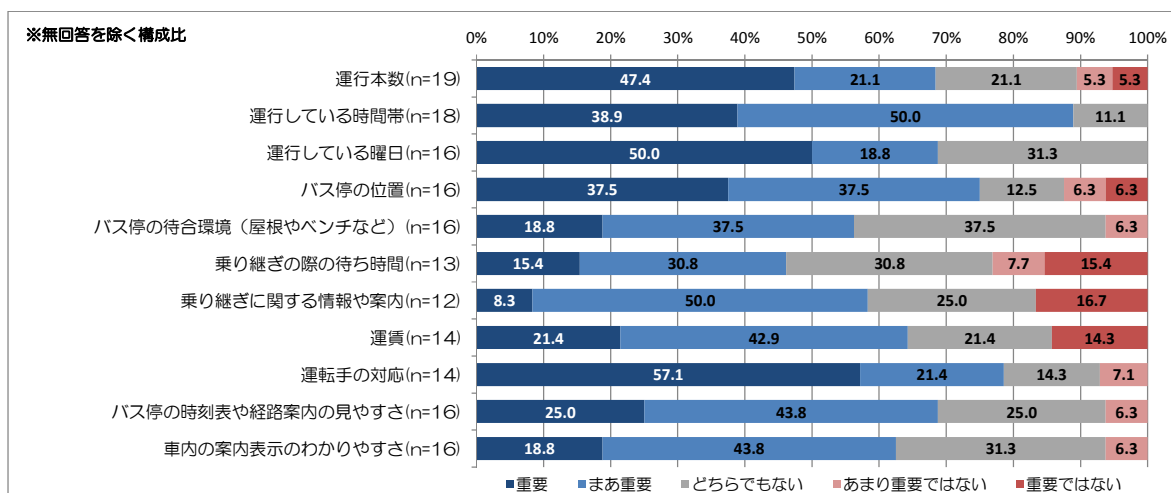
### ▼重要度（あい愛バス）



### ▼重要度（東濃鉄道バス）



### ▼重要度（バス全体）

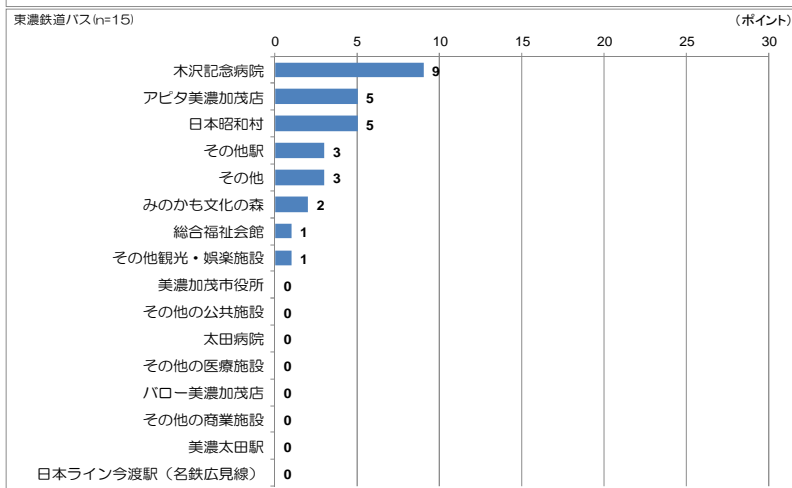
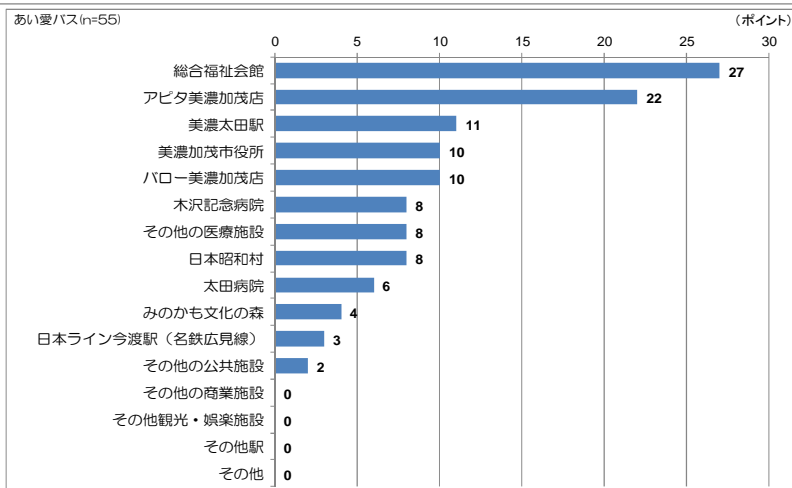
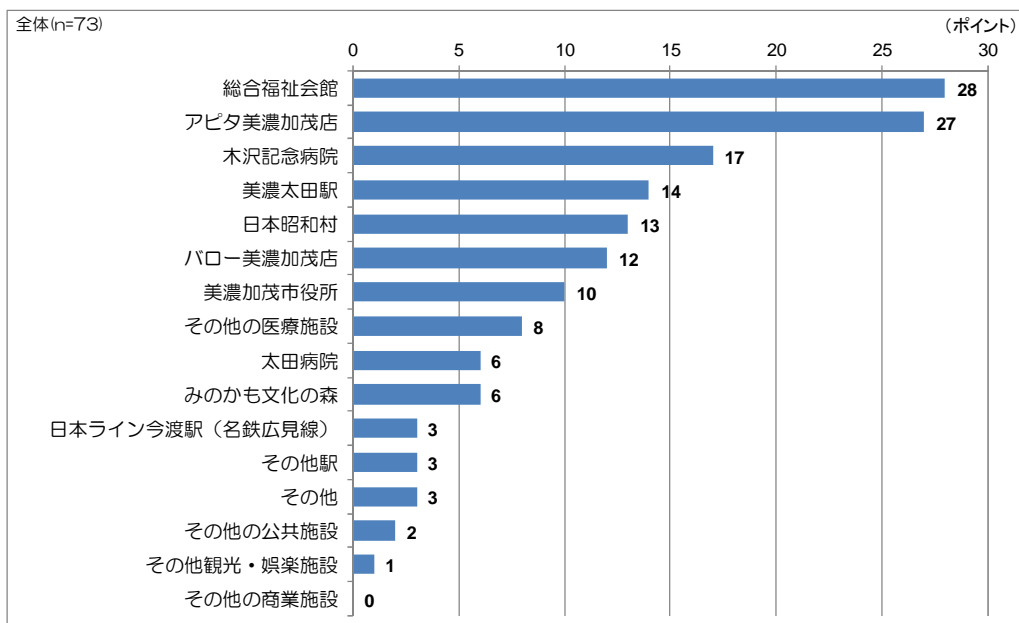


### (3) 美濃加茂市周辺でバスを利用して行きたい施設【問4】

※上位3施設を回答

- あい愛バス回答者は総合福祉会館を利用したいとする方が最も多く、次いでアピタ美濃加茂店となっている。
- 東濃鉄道バスは木沢記念病院を利用したいとする方が最も多く、次いでアピタ美濃加茂店、日本昭和村となっている。

#### ▼美濃加茂市周辺でバスを利用して行きたい施設



## ⑤路線及び地域別の特徴

市民アンケート、乗降調査及びバス利用者アンケートの結果から見た路線及び地域別の特徴を以下にまとめます。

表 2-7 路線及び地域別の特徴

	主な運行地区	路線別利用特性	地区別または路線別の満足度割合と不満理由
市街地循環線	太田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の利用が9割弱を占める。</li> <li>・「通院」「観光・レクリエーション」目的の利用が多く、3割ずつ占める。</li> <li>・あい愛バス相互の乗り継ぎが乗継利用者の3割を占める。</li> <li>・総合福祉会館、美濃加茂市役所、美濃太田駅北口の利用が多く、総合福祉会館を中心とした移動が多い。</li> </ul>	<b>【太田地区】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不満度割合が5割を占める。</li> <li>・不満の理由として、運行本数、運行経路、運行時間帯が挙げられている。</li> </ul>
山之上線	山之上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の利用が9割弱を占める。</li> <li>・「通院」目的の利用が多く、3割強を占める。</li> <li>・乗継利用は1割と他の路線と比べ少ない。</li> <li>・往復利用が7割を占める。</li> <li>・総合福祉会館、美濃太田駅北口、駅北商業団地と山之上地区内を結ぶ利用が多い。</li> </ul>	<b>【山之上地区】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度割合が3割を占める。</li> </ul>
加茂野線	加茂野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の利用が8割を占める。</li> <li>・「観光・レクリエーション」目的の利用が多く、5割を占める。</li> <li>・往復利用が7割を占める。</li> <li>・総合福祉会館と美濃太田駅北口の利用が多く、総合福祉会館と山之上地区内を結ぶ利用が多い。</li> </ul>	<b>【加茂野地区】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不満度割合が4割を占める。</li> <li>・不満の理由として、運行本数、運行経路、運行時間帯が挙げられている。</li> </ul>
蜂屋線	蜂屋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生の利用が3割弱を占める。</li> <li>・「通学」「買物」目的の利用が多く、2割ずつを占める。</li> <li>・往復利用は3割を占めるが、他の路線と比べ少ない。</li> <li>・総合福祉会館、駅北商業団地、ナビ蜂屋の利用が多く、駅北商業団地とナビ蜂屋を結ぶ利用が多い。</li> </ul>	<b>【蜂屋地区】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不満度割合が5割を占め、満足度割合を上回る。</li> <li>・不満の理由として、運行本数、運行日、運行時間帯、運行経路が挙げられている。</li> </ul>
下米田・牧野線	下米田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の利用が9割強を占める。</li> <li>・「観光・レクリエーション」目的の利用が多く、6割を占める。</li> <li>・往復利用が7割を占める。</li> <li>・総合福祉会館、野尻整形外科病院、川合東、木沢記念病院の利用が多い。</li> <li>・総合福祉会館の利用が多く、総合福祉会館と下米田地区内を結ぶ利用が多い。</li> </ul>	<b>【下米田地区】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度割合が3割を占め、不満度割合を上回る。</li> <li>・不満の理由として、バス停境が挙げられている。</li> </ul>
上蜂屋・川浦線	三和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の利用が7割を占める。</li> <li>・「通院」目的の利用が4割弱を占める。</li> <li>・乗継利用が6割強を占め、他の路線と比べ多い。</li> <li>・往復利用が9割弱を占め、他の路線と比べ多い。</li> <li>・総合福祉会館の利用が多く、総合福祉会館と三和連絡所を結ぶ利用が多い。</li> </ul>	<b>【三和地区】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度割合が4割を占め、不満度割合を上回る。</li> <li>・不満の理由として、運行本数、運行日、運行時間帯、運行経路、乗継利便性が挙げられている。</li> </ul>

	主な運行地区	路線別利用特性	地区別または路線別の満足度割合と不満理由
	伊深・廿屋線 伊深 三和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の利用が7割を占める。</li> <li>・「通院」目的の利用が多く、3割弱を占める。</li> <li>・往復利用は6割弱を占める。</li> <li>・総合福祉会館、美濃太田駅北口、駅北商業団地と伊深地区及び三和地区内を結ぶ移動が多い。</li> </ul>	<p>【伊深地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度割合が5割を占め、不満度割合を上回る。</li> <li>・不満の理由として、運行本数、運行利便性、運行経路、バス停位置、バス停環境が挙げられている。</li> </ul> <p>【三和地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度割合が4割を占め、不満度割合を上回る。</li> <li>・不満の理由として、運行本数、運行日、運行時間帯、運行経路、乗継利便性が挙げられている。</li> </ul>
	文化の森公園線 太田 蜂屋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の利用が8割を占める。</li> <li>・市外居住者の利用が7割を占める。</li> <li>・「観光・レクリエーション」目的の利用が多く、6割を占める。</li> <li>・乗継利用が7割弱を占め、他の路線と比べ多い。</li> <li>・美濃太田駅北口と日本昭和村の利用が多く、この2つを結ぶ利用が中心である。</li> </ul>	<p>【太田地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不満度割合が5割を占める。</li> <li>・不満の理由として、運行本数、運行経路、運行時間帯が挙げられている。</li> </ul> <p>【蜂屋地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不満度割合が5割を占め、満足度割合を上回る。</li> <li>・不満の理由として、運行本数、運行時間帯、バス停位置、運行日が挙げられている。</li> </ul>
	日本昭和村・富加駅線 蜂屋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の利用が7割を占める。</li> <li>・市内居住者が7割を占める。</li> <li>・「買物」「飲食」目的の利用が多く、2割を占める。</li> <li>・総合福祉会館、美濃太田駅北口、駅北商業団地の利用が多い。</li> <li>・蜂屋地区内から駅北商業団地や美濃太田駅北口への利用が多い。</li> </ul>	<p>【蜂屋地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不満度割合が5割を占め、満足度割合を上回る。</li> <li>・不満の理由として、運行本数、運行時間帯、バス停位置、運行日が挙げられている。</li> </ul>
	あい愛予約バス 古井	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の利用が8割強を占める。</li> <li>・「習い事・趣味」目的の利用が多く、6割弱を占める。</li> <li>・左まわりは午前、右まわりは夕方利用が多い。</li> <li>・総合福祉会館、野尻整形外科病院、川合東、木沢記念病院の利用が多いが、利用がほとんど見られないバス停もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度割合が2割を占め、不満度割合を上回る。</li> <li>・不満の理由として、運行時間帯、予約受付の対応が挙げられている。</li> </ul>
	東濃鉄道バス 八百津線 太田 古井 下米田 八百津町内 可児市内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生の利用が多く、4割弱を占める。</li> <li>・利用者の5割は市外居住者である。</li> <li>・「通学目的」の利用が多く、3割を占める。</li> <li>・乗継利用は1割強を占め、乗り継ぎ先の多くはJR太多線や長良川鉄道が占める</li> <li>・美濃太田駅、木沢記念病院、可茂特別支援学校、八百津町ファミリーセンターの利用が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度割合と不満度割合はともに3割を占め同程度である。</li> <li>・不満の理由として、運行本数、バス停位置、運行経路、運賃が挙げられている。</li> </ul>

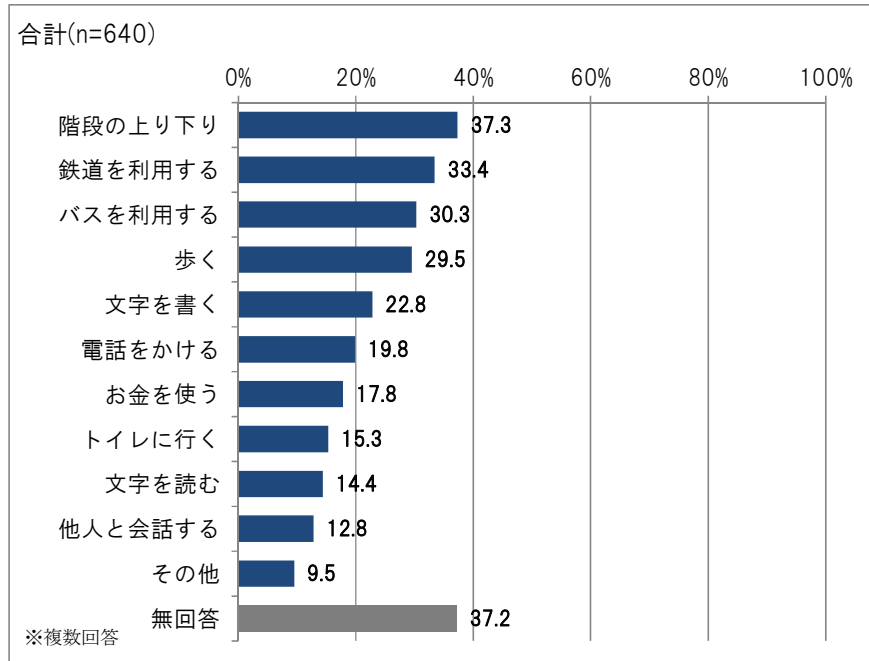
## ⑥障害者手帳の種類別集計によるアンケートの詳細結果

### (1) 自分1人だと大変だと感じる活動【問1⑫】

※複数回答

■「階段の上り下り」が約37%と最も高く、次いで「鉄道を利用する」約33%、「バスを利用する」約30%となっている。公共交通の利用が大変であることがうかがえる。

#### ▼自分1人だと大変だと感じる活動

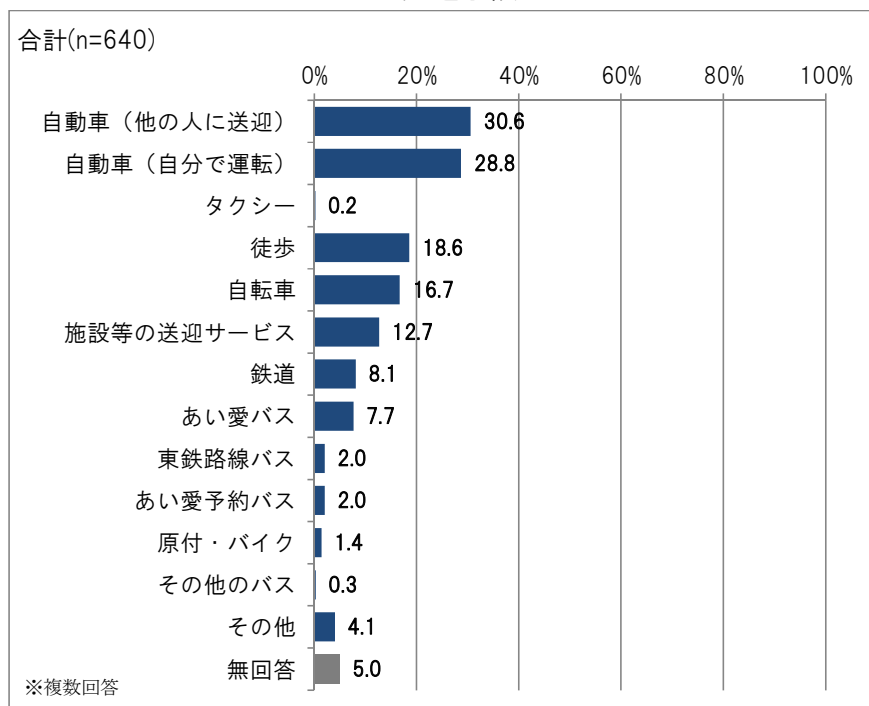


### (2) 外出時の交通手段【問1⑮】

※複数回答

■「自動車」での外出が約59%を占める。「タクシー」利用も約24%存在する。

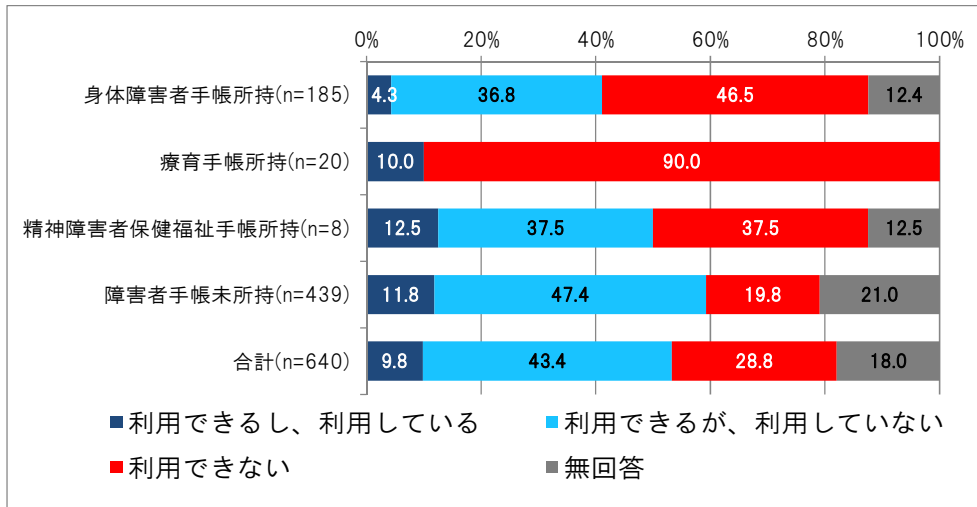
#### ▼交通手段



### (3) 路線バスの1人利用について【問8】

■「利用できるが、利用していない」が約43%を占め、「利用している」は約10%にとどまっている。

▼路線バスの1人利用について

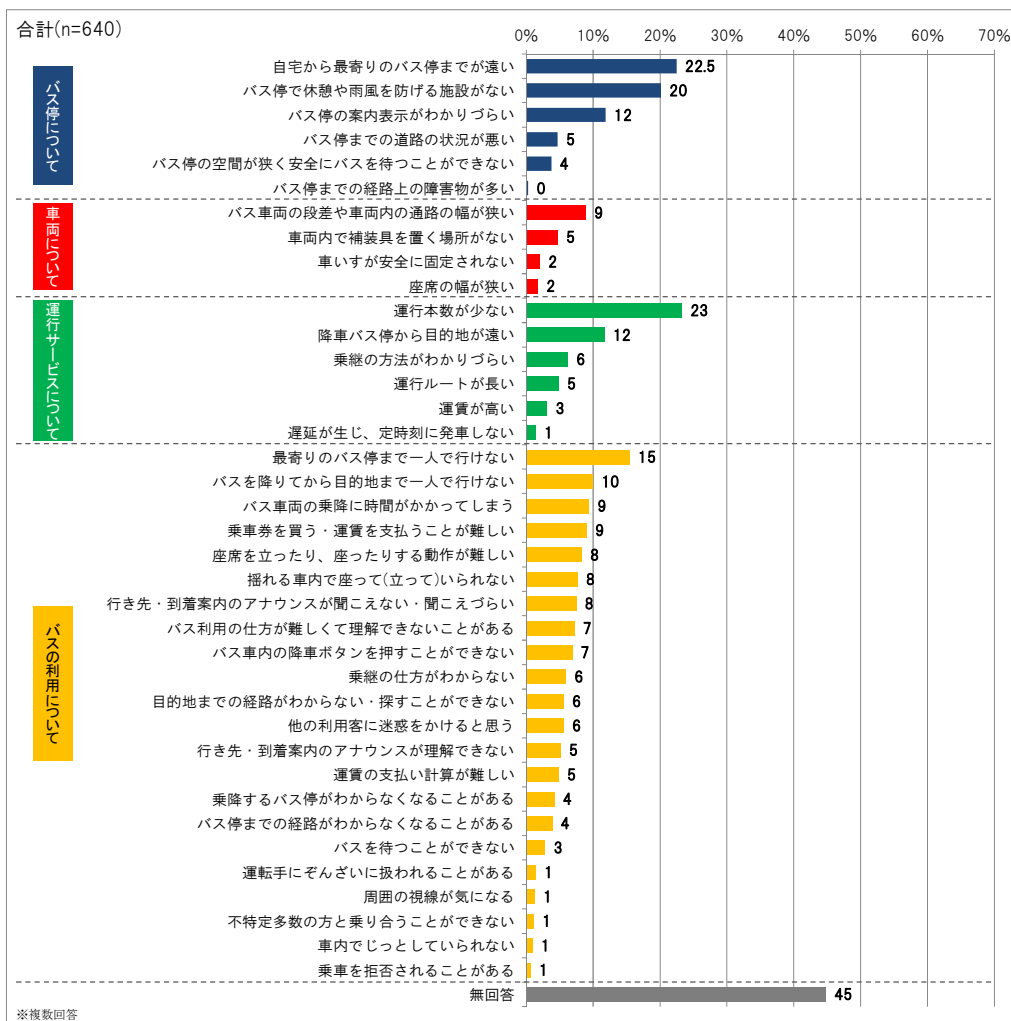


### (4) 1人でバスを利用して自宅から目的地まで移動する場合、困っている又は困ること【問10】

※複数回答

■「運行本数が少ない」が約23%と最も高い。次いで、「最寄りバス停までが遠い」約23%となっている。

▼自宅から目的地まで移動する場合、困っている又は困ること



※複数回答

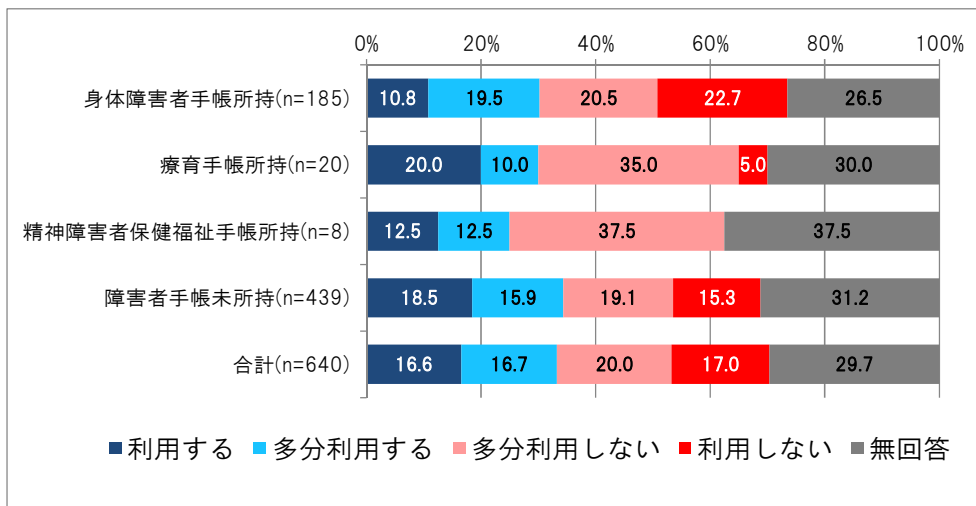


### (5) 困ることが改善された場合のバスの利用意向【問 11】

※複数回答

■「多分利用しない+利用しない」37%が「利用する+多分利用する」約33%を上回る。

▼困ることが改善された場合のバスの利用意向

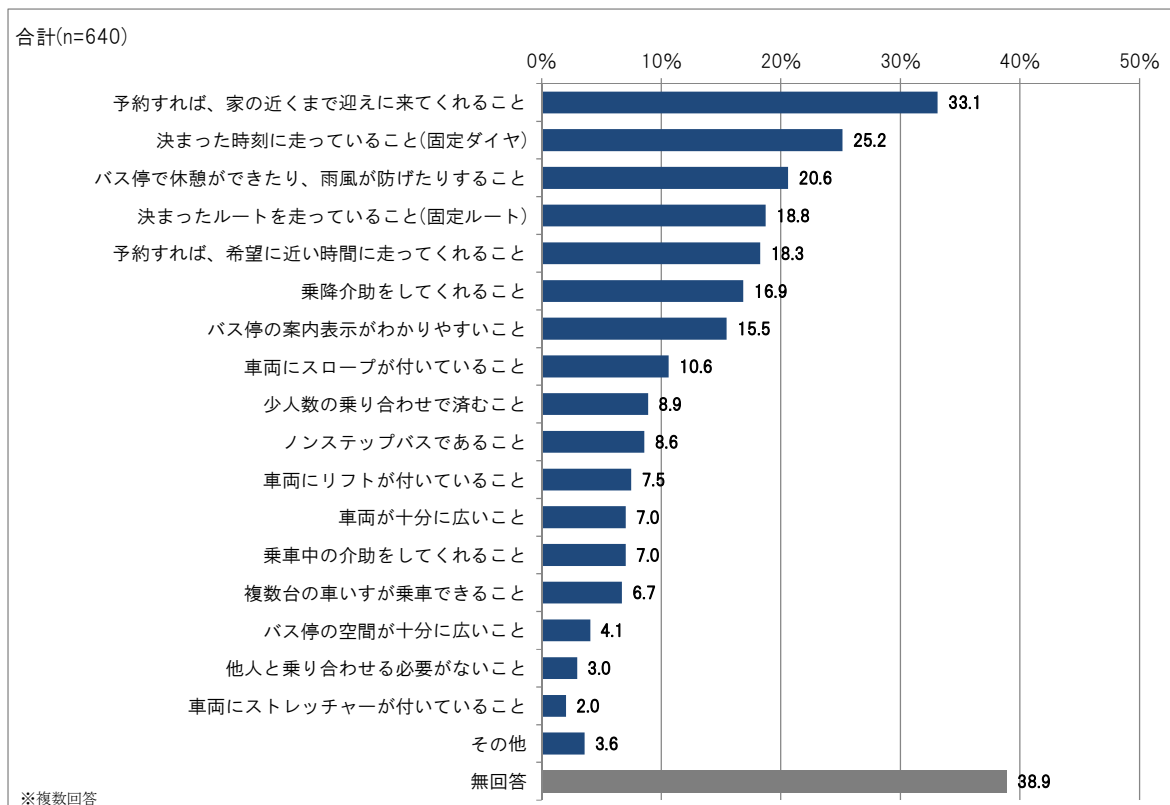


### (6) 利用したいと思う公共交通サービスについて【問 12】

※複数回答

■「予約すれば家の近くまで迎えに来てくれること」が約33%と最も高く、次いで「決まった時刻に走っていること」が約25%となっている。

▼利用したいと思う公共交通サービスについて



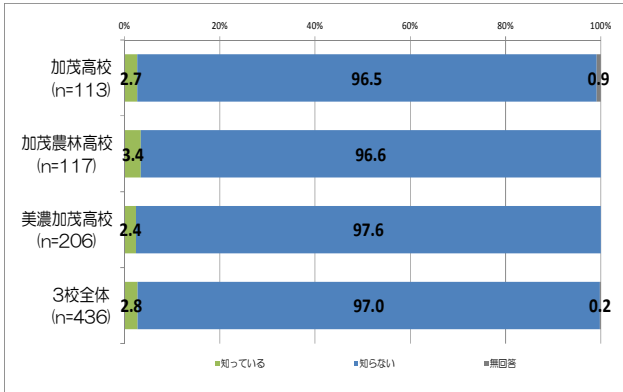
※複数回答

## ⑦高校生アンケート調査の詳細結果

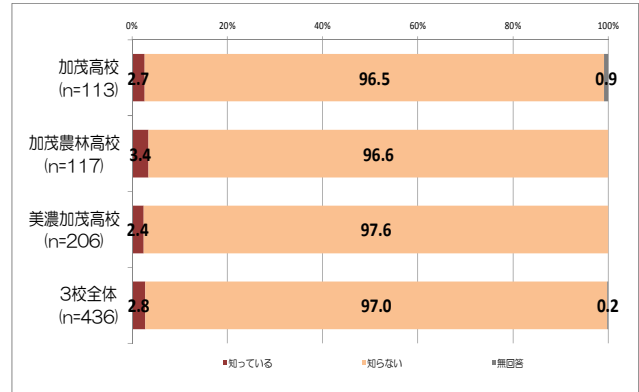
### (1) バスに関して知っていること【問2】

■いずれの高校においても、ルート、ダイヤ、運賃を知らないと回答する回答者が大多数を占める。

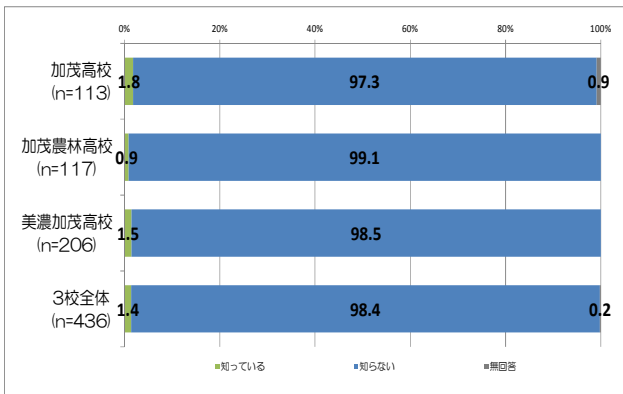
#### ▼東鉄バス八百津線のルートについて



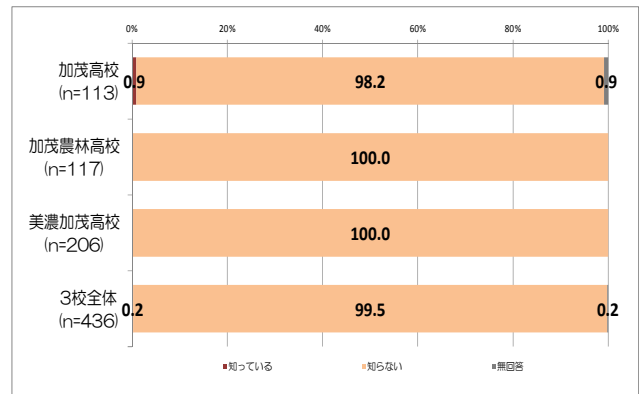
#### ▼あい愛バス・あい愛予約バスのルートについて



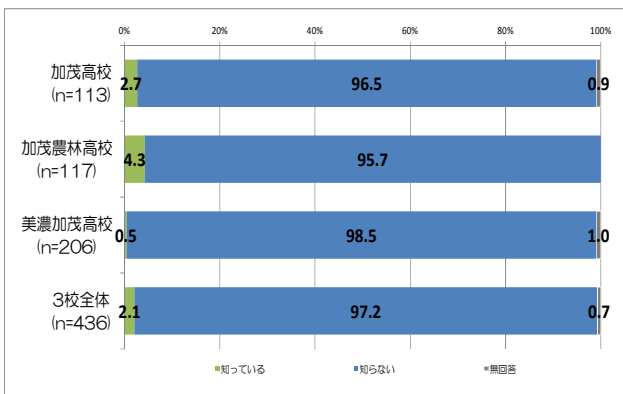
#### ▼東鉄バス八百津線のダイヤについて



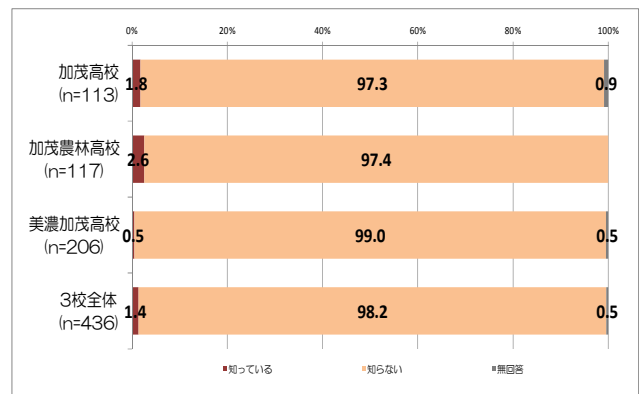
#### ▼あい愛バス・あい愛予約バスのダイヤについて



#### ▼東鉄バス八百津線の運賃について



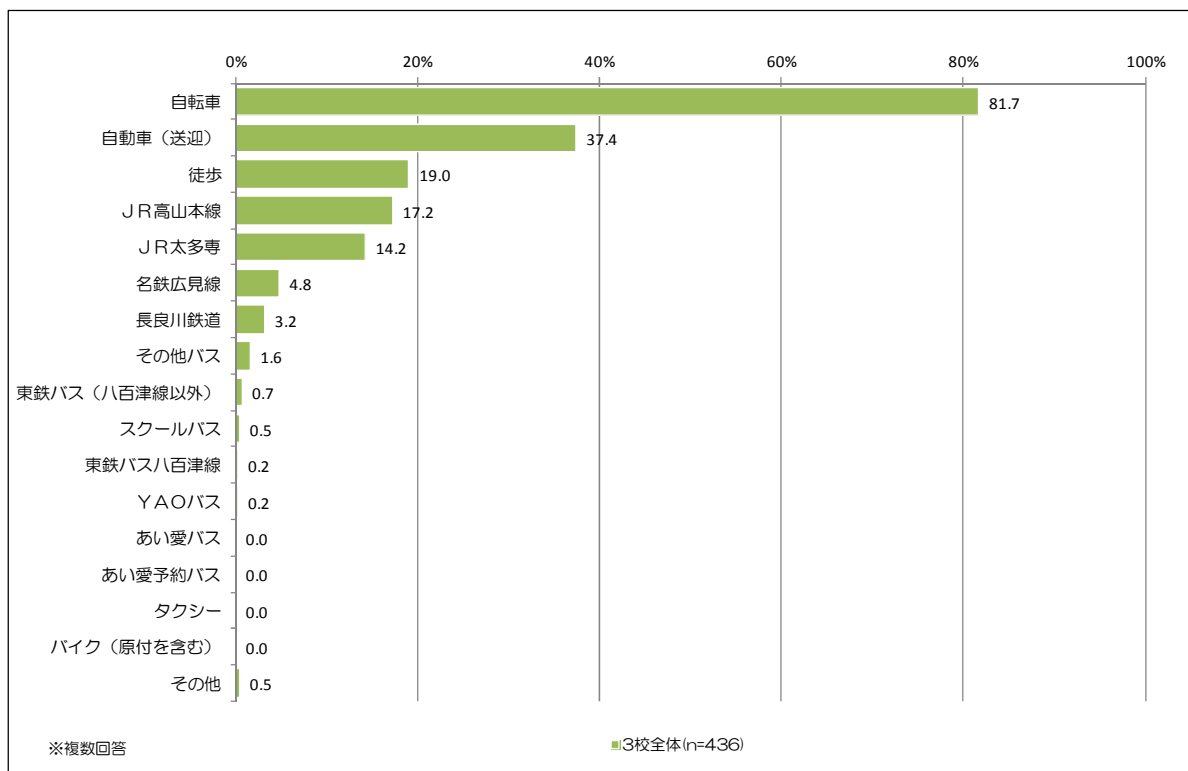
#### ▼あい愛バス・あい愛予約バスの運賃について



## (2) 通学時の交通手段【問3②】

- いずれの高校においても自転車が最も多く、次いで自動車（送迎）となっている。
- 鉄道の利用はやや見られるものの、東濃鉄道バス、あい愛バスなどのバスの利用はほとんどみられない。

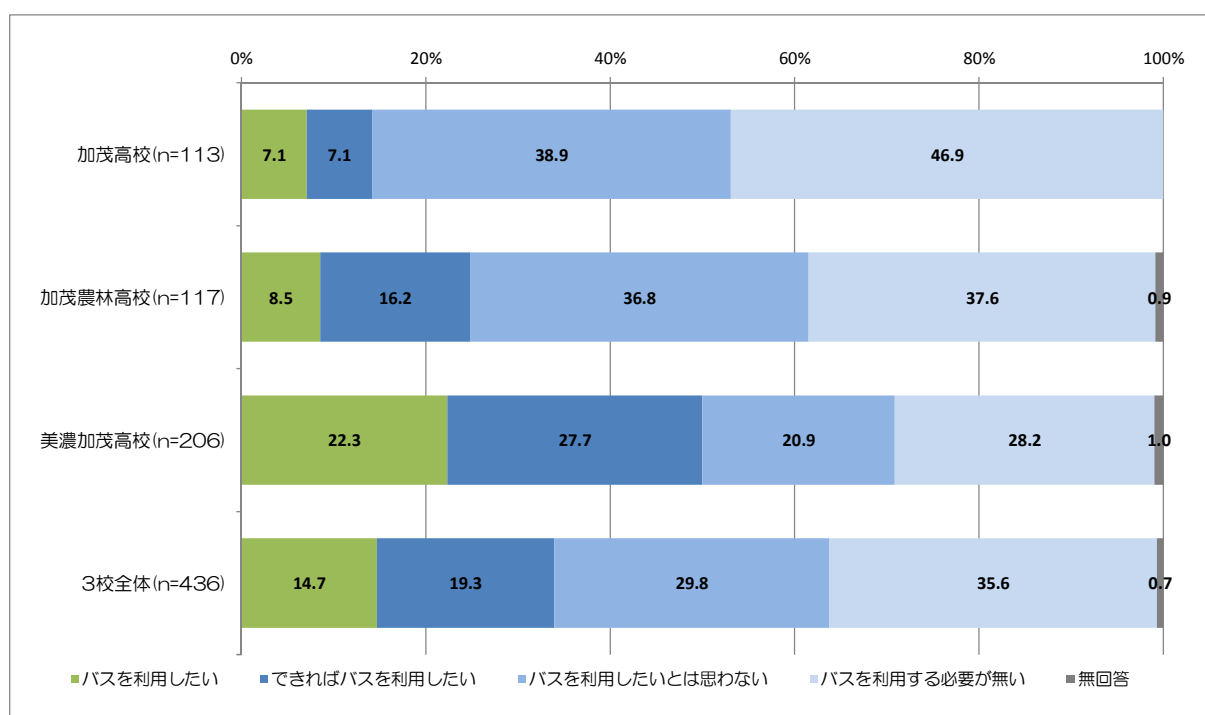
▼通学時の交通手段



## (3) 通学時にバスを利用したいか【問3③】

- 美濃加茂高校では半数がバスを利用したいと回答している。

▼通学時のバス利用意向

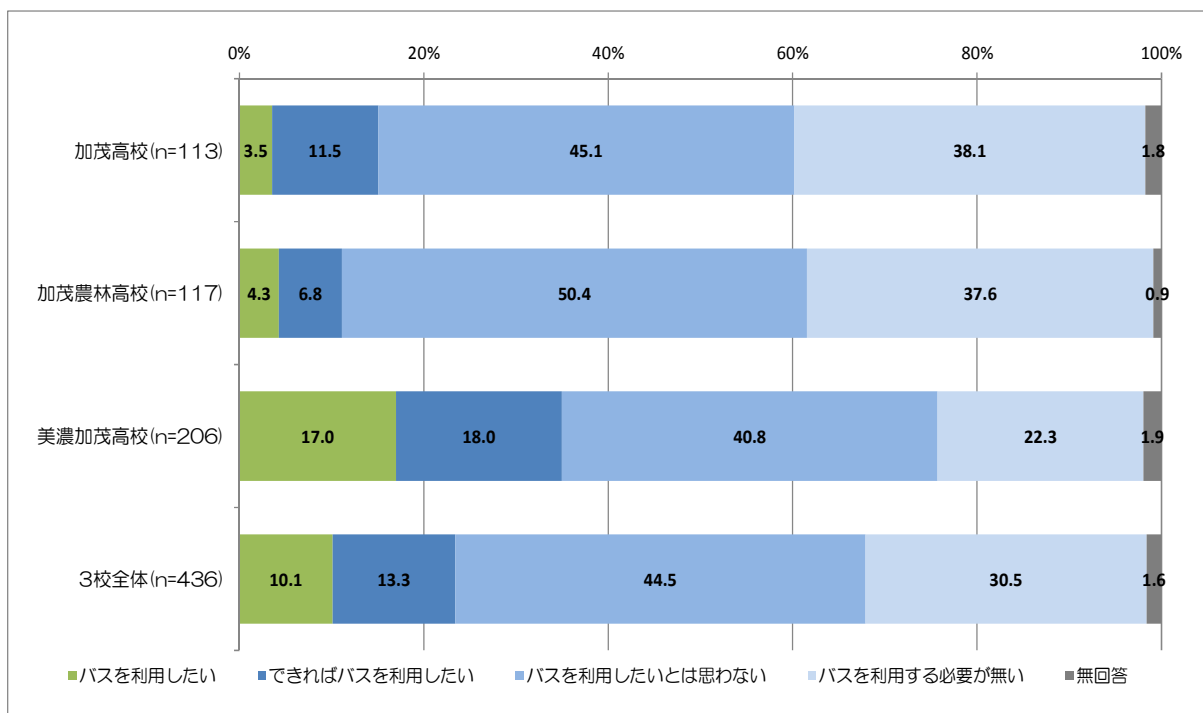


#### (4) 休日にバスを利用したいか【問4④】

■美濃加茂高校では3割強、3校全体では2割強の学生に休日のバス利用意向がある。

■加茂農林高校では9割弱の学生に休日のバス利用意向がない。

▼休日のバス利用意向

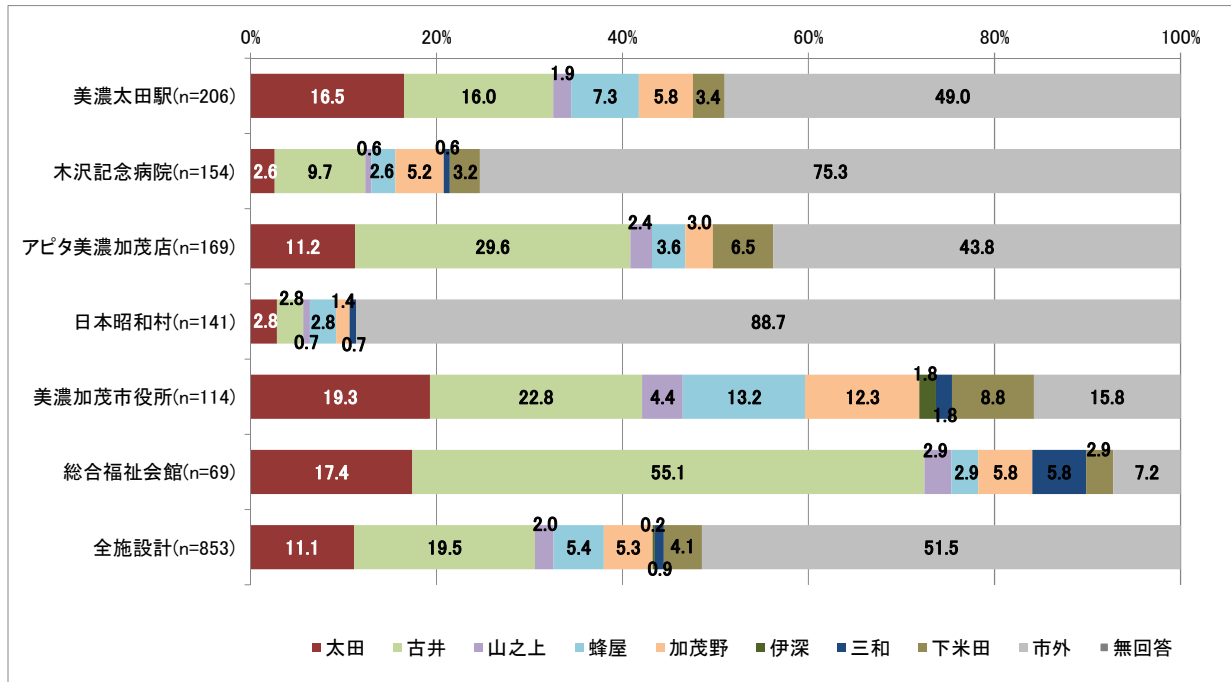


## ⑧主要集客施設利用者ヒアリング調査の結果

### (1) 居住地

■日本昭和村は9割弱、木沢記念病院は8割弱が市外居住者である。

▼居住地

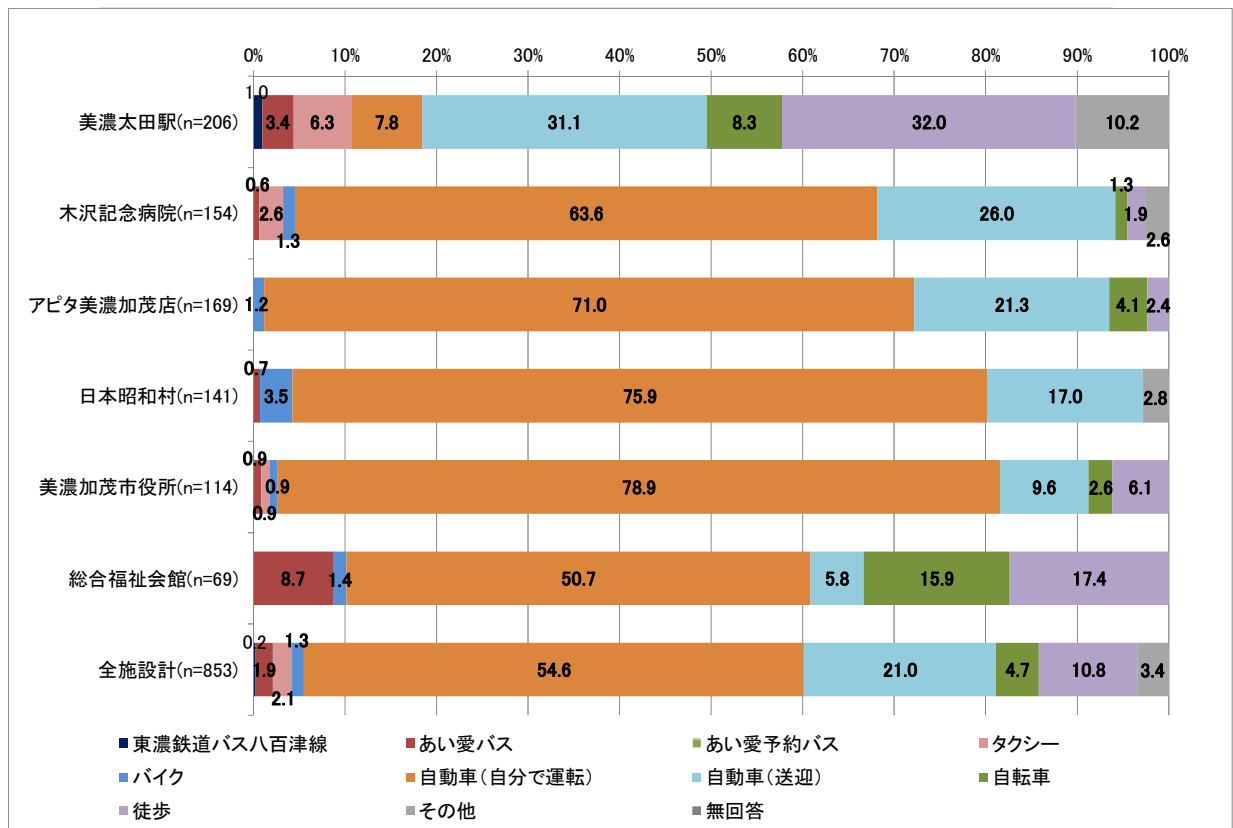


### (2) 利用交通手段

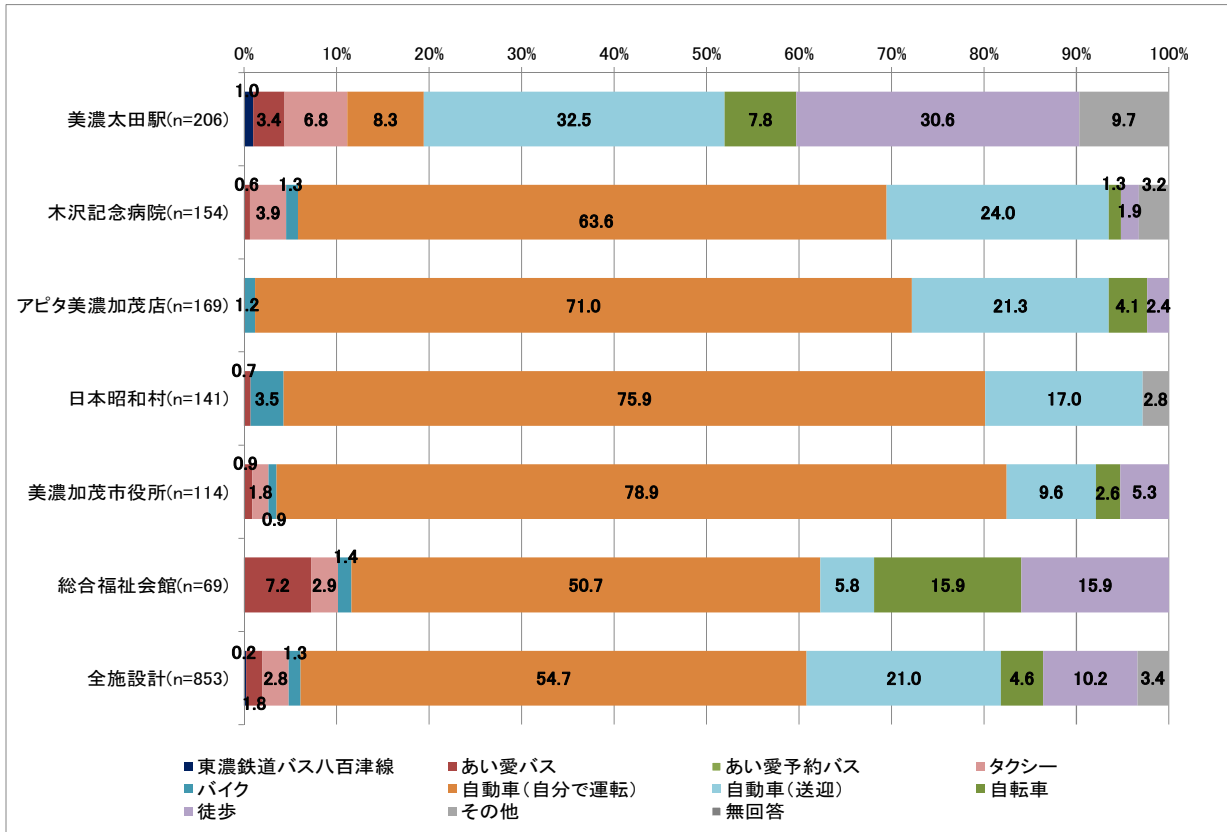
■美濃太田駅を除く5施設では、自動車（自分で運転）が最も多くの回答数を占める。

■アピタ美濃加茂店を除く5施設では、あい愛バス利用者が存在する。

▼交通手段（行き）



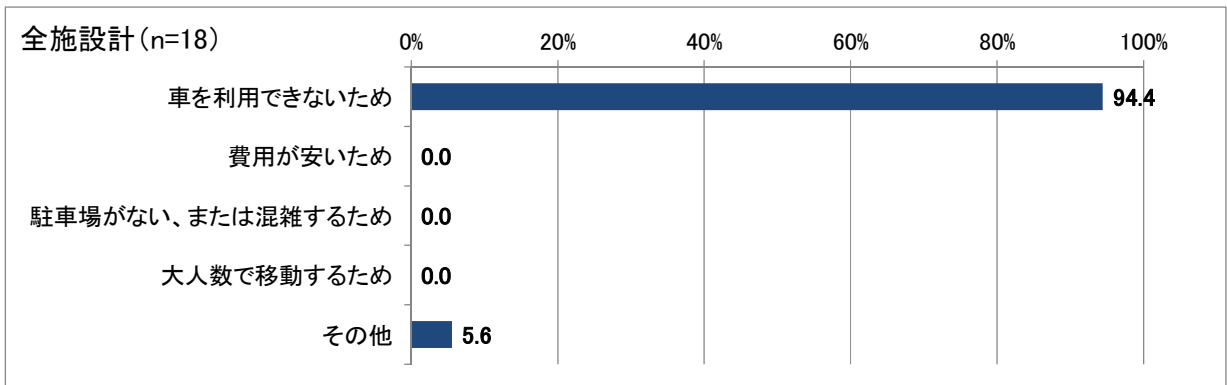
▼交通手段（帰り）



(3) バスを利用した理由

■バス利用理由として車を利用できないためが多い。

▼バスを利用した理由



## ⑨地域懇談会の開催結果

### (1) 開催概要

表 2-8 開催概要

開催日	平成 27 年 12 月 3 日、12 月 10 日
開催場所	美濃加茂市立東図書館
対象地区	12 月 3 日：加茂野、太田、古井、下米田 12 月 10 日：三和、伊深、山之上、蜂屋
参加者数	12 月 3 日：36 人、12 月 10 日：29 人
テーマ	1. 現在の公共交通（バス）の問題点 2. 将来のまちの姿
開催にあたって、工夫したところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生主体の進行による話しやすい雰囲気づくり</li> <li>・飲み物（コーヒー、お茶）やお菓子（地元企業の商品）を用意</li> <li>・託児所を設置し、子育て世代の参加を促進</li> <li>・シャトルバスを運行し、自動車を利用できない方の参加を促進</li> <li>・参加を呼び掛けるチラシの作成</li> </ul>

▼大学生による進行



▼飲み物とお菓子の用意



▼託児所の設置



▼シャトルバスの運行



図 2-13 地域懇談会（「バス」と「まち」を考えるおしゃべり喫茶）のチラシ  
▼第1回

あなたの「まち」にバスは必要ですか？

# 「バス」と「まち」を考える おしゃべり喫茶

お菓子もあるよ！  
お茶・コーヒーを飲みながら  
楽しくみんなで話しましょう！

**参加無料**  
**託児有り**  
(6ヶ月～6歳以下)

総合福祉会館

と き：平成27年12月3日（木）・10日（木） 10時～12時  
と ころ：美濃加茂市立東図書館2階 視聴覚ホール ※シャトルバス有  
締 切：平成27年11月27日（金）

▼第2回

バスに乗ると  
ちょっと幸せになれる？

「バス」と「まち」を  
考える  
おしゃべり喫茶

平成28年2月24日 [水]  
午前10時～12時  
美濃加茂市生涯学習センター201号

お菓子を食べながら！  
コーヒーやお茶を飲みながら！  
みんなでアイデアを出そう！！

idea

**参加無料**  
託児・シャトルバスあり

申し込み・お問い合わせ  
美濃加茂市役所 地域振興課 地域政策係  
電 話 0574-25-2111 (内線 249) FAX0574-25-3917  
メール chiki@city.minokamo.lg.jp



## (2) 開催の様子

図 2-14 地域懇談会（「バス」と「まち」を考えるおしゃべり喫茶）の様子



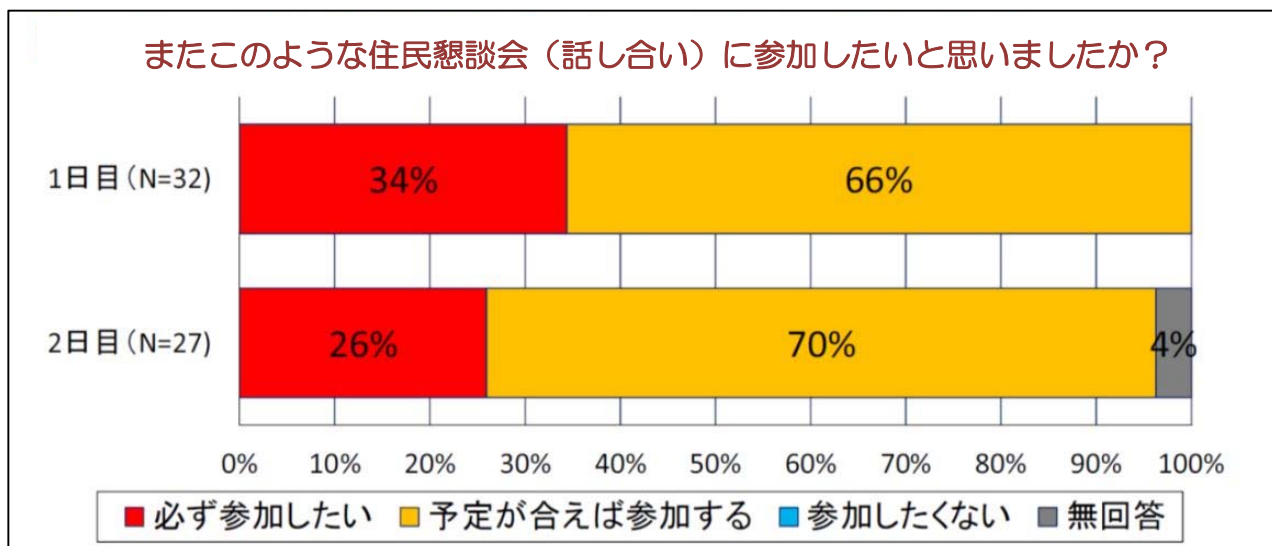
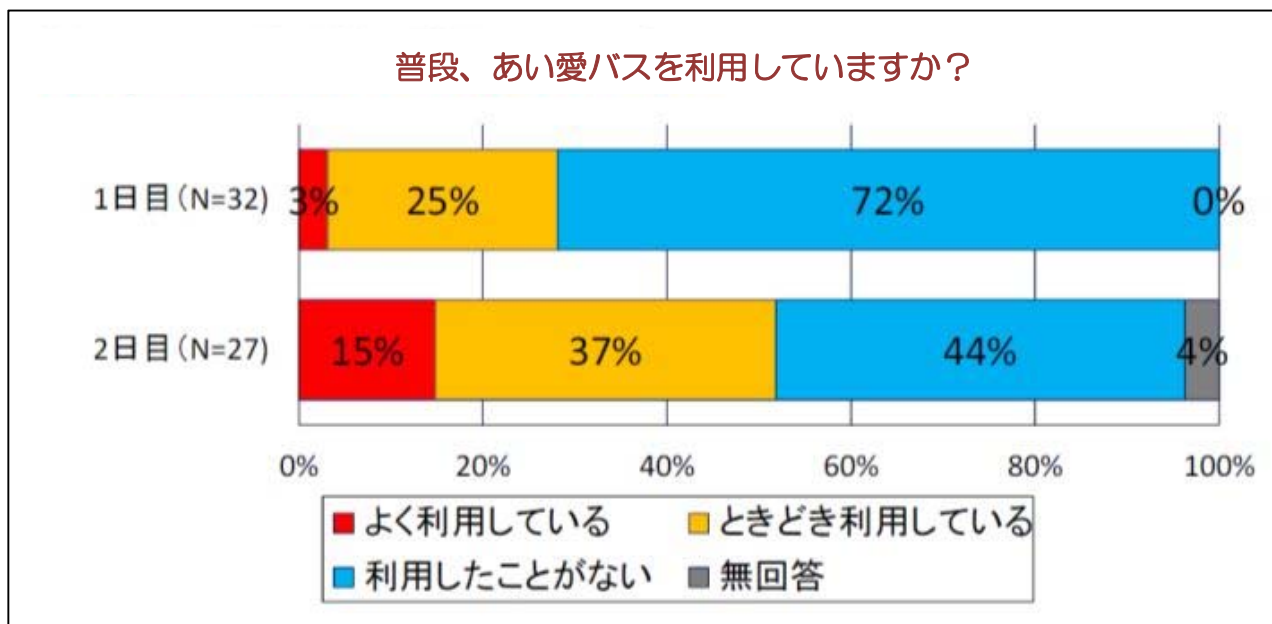
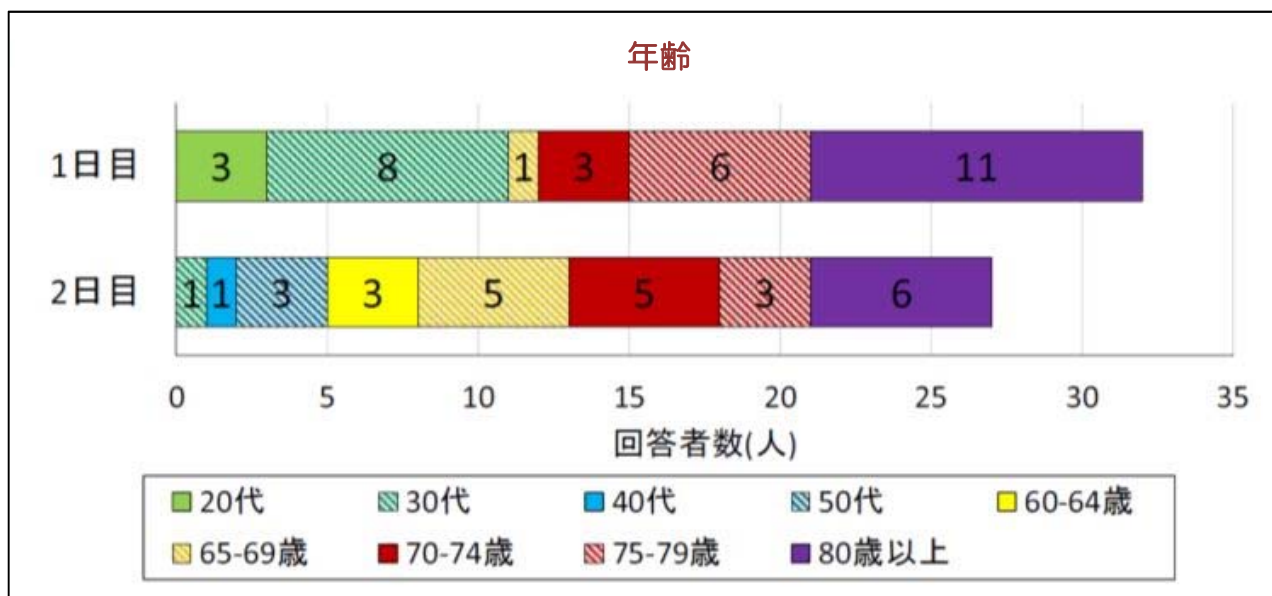
### (3) 参加者の主な意見

表 2-9 参加者の主な意見

参加者の主な意見	
<p>現在の公共交通 (バス)の問題点</p>	<p><b>【運行日に関する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週2回しか運行しないため、通院目的に利用できない</li> <li>・毎日運行していないので予定が合わないため、せめて週に3日は運行して欲しい</li> <li>・バスを利用したい日があっても走っていない曜日がある</li> </ul> <p><b>【ルートに関する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的地までの時間を短縮する工夫をしてほしい</li> <li>・乗り換えないと駅に行けない</li> <li>・近隣の市町村とつながるルートがない</li> <li>・病院の近くにバスの停留所をつくってほしい</li> <li>・買い物施設に行くルートを通してほしい</li> </ul> <p><b>【バス停に関する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス停に屋根がない</li> <li>・ベンチがないため座れない</li> <li>・若者がバスの存在を知らず、他の住民も自宅付近のバス停の位置を知らない</li> </ul>
<p>将来のまちの姿 (各グループで まとめられた将 来のまちの姿)</p>	<p><b>【若者に帰ってきてもらえるまち】</b> 各地区に主要な公共施設（市役所の支所、図書館など）を配置し、駅前の再開発も行うことにより、よりにぎやかな市を形成し、若年層の取り込みを図る</p> <p><b>【生活のしやすいまち】</b> 外国人や若者（学生）の積極的な呼び込みと、子どものいる世帯が安心して暮らせるような道路空間・施設の整備を行い、近隣住民との交流を増加させる</p> <p><b>【夢のある美濃加茂市】</b> 若者が地元から離れないような環境にすることに加え、多くの人が交流でき、外から来た人も楽しめる夢のようなまちにしていく</p> <p><b>【人と人とが繋がるまち】</b> 地域で生活する全ての人が繋がるまちを目指す</p> <p><b>【子どもから高齢者までにぎわいのあるまち】</b> 子どもから高齢者までにぎわいのあるまちにしていく</p> <p><b>【将来の美濃加茂市～なんでもあるまち～】</b> 若い人が地元で通学・就職し、その後自給自足して暮らしていくことができ、更に若者や外国人が集まるようなレジャー施設や高齢者のための介護施設などの揃ったまちにしていく</p> <p><b>【バスの走る町】</b> 美濃加茂市が活気あるまちになるためにはバスの利用促進が重要である</p> <p><b>【活気のある美濃加茂市】</b> 若者を取り込み、活気のあるまちにしていく</p> <p><b>【南部と北部をつなぐ】</b> 各地域の特徴を生かすことで全体を活性化していく</p>

#### (4) 参加者アンケート結果

図 2-15 参加者アンケート結果



## 5) 公共交通の課題

美濃加茂市の現況、上位・関連計画、ニーズ調査結果を踏まえ、以下の4つを公共交通の課題としてまとめます。

### ①上位計画及びニーズ調査結果と公共交通の課題の関連性

各調査結果から見られる特性		①	②	③	④
市の現状と公共交通の利用状況	A. 人口は増加傾向にあり、平成32年度には56,864人と推計される。年少人口割合は減少傾向、老年人口割合は増加傾向にあります。(P5)	○			○
	B. 商業施設や医療施設は、美濃太田駅周辺に多く集積しています。(P6)	◎			
	C. 美濃太田駅においてJR高山本線・太多線、長良川鉄道が交差しており、鉄路が幹線として重要な役割を果たしています。(P8)	○	◎		
	D. 美濃太田駅の年間乗車人員は市内で最も多い。年間乗車人員の推移は、美濃川合駅以外のJRの駅は減少傾向、長良川鉄道の駅は横ばいです。(P9)	○	○		
	E. 市内路線バス、あい愛バスの年間乗車人員は、減少傾向です。(P12~13)		○		○
	F. 東濃鉄道バスの利用状況は、「高校生」の利用が4割弱、利用目的は「通学」が3割、「市外」の利用者が約5割を占めます。(P27~28)		○		○
	G. あい愛バスの乗継利用の状況は、市街地循環線、下米田・牧野線、上蜂屋・川浦線において、あい愛バス相互の乗継利用が多いです。(P29~31)		◎		○
	H. あい愛予約バスの利用状況は、75歳以上の利用が7割弱を占め、利用目的は、「習い事・趣味」が6割弱を占めます。(P31)				○
市民アンケート	A. バスに関する認知度は、「あい愛バス・あい愛予約バスが走っていること」は約9割を占めますが、「ダイヤ」や「経路」は1割に満たないです。(P17)			◎	
	B. 運転をやめようと思う年齢について、65歳以上の回答者の5割強は「80歳以降」と回答し、1割弱は「運転はやめない」としています。自動車の運転を止めた後の移動手段として、三和地区では「バス」が約8割を占めます。(P18)			○	◎
	C. 普段送迎しているとする人は回答者の約4割存在し、30~49歳の約3割は送迎が「負担となっている」としています。(P19)				○
	D. 送迎されている人のうち、三和地区では「気が引ける」が約6割を占め、30~49歳では、「気が引ける」が約5割を占めます。送迎されている人のうち、5割弱は公共交通を利用できる場合、「できる限り公共交通を利用する」としています。(P20~21)				◎
	E. あい愛バスは、回答者の約4%が利用しており、非利用者の今後の利用意向は、山之上地区では約3割、65歳以上では約3割を占めます。(P22~23)			○	○
	F. あい愛予約バスは、回答者の約1%が利用しており、非利用者の今後の利用意向は、65歳以上では、約2割を占めます。(P23~24)			○	○
	G. 公共交通全体の不満度は満足度を上回り、加茂野地区、伊深地区、三和地区では、不満度が4割以上を占めます。(P24)		○		○
	H. 地域懇談会への参加意向は、「参加してもよい」とする人は回答者の約3%です。(P25)				◎
	I. 将来のまちの姿として、「車がなくても移動できるまち」、「健康に暮らせるまち」の優先度が高くなっています。(P25)	◎	○	○	○
	J. 公共交通の方向性として、「車が利用できなくなった時に利用できること」の優先度が高くなっています。(P26)	◎	○	○	○
	K. 運行費用について、「増加すべき+増加はやむを得ない」約40%が、「減少に努める+減らすべき」約17%を大幅に上回ります。(P26)				○
バス利用者アンケート	A. バス利用者における東濃鉄道バス及びあい愛バス・あい愛予約バスの総合満足度割合は不満度割合を上回ります。(P32)		○		○
	B. 東濃鉄道バスについて、「運行本数」、「運行している時間帯」、「バス停の待合環境」に対する不満度割合が高くなっています。(P32)		○		
	C. 東濃鉄道バスについて、「運行している時間帯」の重要度割合は高くなっています。(P33)		○		
	D. あい愛バス・あい愛予約バスについて、「運転手の対応」、「運賃」、「バス停位置」に対する満足度割合は7割を超えているが、「運行本数」、「バス停の待合環境」、「運行している時間帯」に対する不満度割合が高くなっています。(P32)			○	◎
	E. あい愛バス・あい愛予約バスについて、「バス停位置」と「バス停の時刻表や経路案内の見やすさ」は重要度割合が高くなっています。(P33)			○	○
	F. バスの利用者がバスで行きたい施設は、「総合福祉会館」、「アピタ美濃加茂店」、「木沢記念病院」が多くなっています。(P34)				○
移動制約者アンケート	A. 回答者の多くは、「階段」や「公共交通の利用」などに対し自分だけでは大変だと感じています。(P37)			○	
	B. 普段の外出では「自動車(送迎を含む)」や「タクシー」及び「施設等の送迎サービス」を利用している回答者が多くなっています。(P37)		○		
	C. バス利用者は回答者の1割にとどまっている一方、「利用できるが、利用していない」という方が回答者の約4割存在します。(P38)			◎	○
	D. 回答者の多くは、バス利用で「運行本数」や「バス停までの距離」に困っており、改善した場合の利用意向は約3割を占めます。(P38~39)			○	○
	E. 回答者の希望する公共交通サービスは「予約すれば家の近くまで迎えに来てくれる」ことや「乗降助をしてもらえること」が多くなっています。(P39)		○	○	○
高校生アンケート	A. 大多数の高校生にとって、東濃鉄道バス及びあい愛バスは認知度が著しく低い交通手段となっています。(P40)			○	
	B. 高校生の通学手段は「自転車」または「自動車(送迎)」が大多数を占めますが、約1割のバス利用意向は伺えます。(P41)				○
	C. 通学時には劣るものの、高校生の休日の外出においても約1割のバスの利用意向は確認できます。(P42)				○
	D. 施設利用者のうち日本昭和田では約89%、木沢記念病院では約75%が市外居住者であります。(P43)	○	○		
	E. 多くの集客施設において施設利用者の交通手段は「自動車」です。また、「車を利用できないためバスを利用する」という人が多くなっています。(P43~44)		○		
地域懇談会	A. 「現状の公共交通(バス)の問題点」として、運行日、ルート、待合環境に関する意見等が挙げられました。(P48)				○
	B. 「将来のまちの姿」として、美濃太田駅周辺の再開発や各地を結ぶ公共交通ネットワークの形成による活性化、自然資源を活かした北部地区の活性化、若者に魅力のあるまちや安心して子育てができるまちの形成による若い世代の呼び込みと定住促進、子どもから高齢者までの多世代交流によるにぎわい創出などの意見が挙げられました。(P48)	◎		○	

#### 地域公共交通の課題

①公共交通を軸にしたまちづくりの推進と美濃太田駅周辺における交通拠点機能の強化

②鉄道、路線バス、コミュニティバス及びタクシー等相互の連携

③誰もがわかりやすく、安心して使いやすい公共交通の充実

④市民ニーズへの対応と公共交通維持に対する住民参加



## ②公共交通の課題の内容

### ① 公共交通を軸にしたまちづくりの推進と美濃太田駅周辺における交通拠点機能の強化

美濃加茂市の人口は、当面の間は増加が継続する中、少子高齢化が進行します。そこで、美濃加茂市は、これら社会経済情勢を踏まえ、美濃太田駅周辺地区を都市拠点として位置づけ、各種都市機能の集積を図ることで集約連携型の都市構造を目指しています。

平成25年度に実施したみのかも定住自立圏（美濃加茂市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村）のアンケート調査において、バスや鉄道を利用して行きたい施設の上位10施設中8施設が美濃加茂市内の施設となっていることから、美濃加茂市は定住自立圏における中心都市としての役割が求められており、定住自立圏域内の移動を可能とする公共交通ネットワークの形成が必要とされています。

また、市民アンケート結果では、公共交通がもたらす美濃加茂市の将来のまちの姿として、多くの地域及び世代で「車がなくても移動できるまち」「健康に暮らせるまち」の順に優先度が高く、今後の公共交通の方向性として、「車が利用できなくなった時に利用できること」の優先度が高くなっています。

地域懇談会では、将来のまちの姿として、美濃太田駅周辺の再開発や各地区の拠点化による市全体の活性化や美濃太田駅周辺と各地域を結ぶ公共交通のネットワークの形成を求める意見が挙がりました。

これらのことから、美濃加茂市を中心とした定住自立圏における移動環境を確保するにあたっては、公共交通を軸とした交通体系を前提としつつ、美濃太田駅周辺地区における交通拠点機能の強化を図ることが課題です。

図 2-16 バスや鉄道を利用して行きたい施設（定住自立圏住民アンケート）

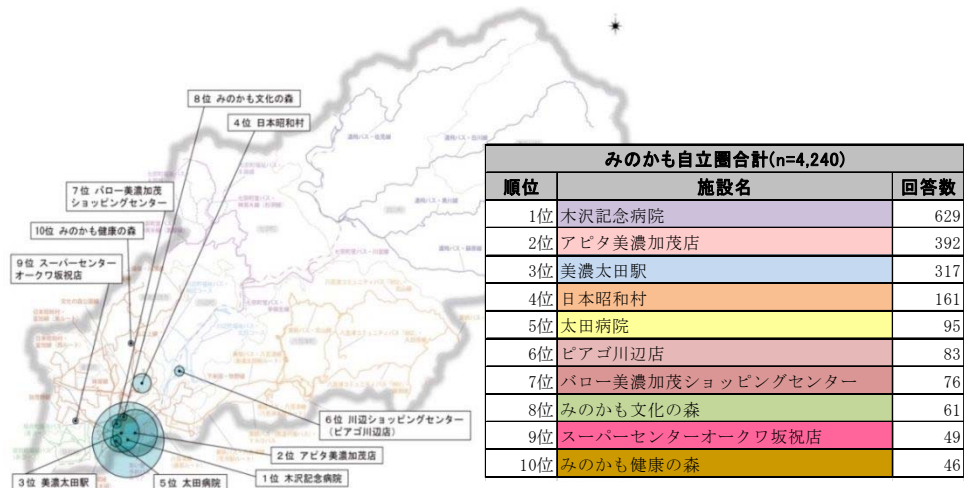
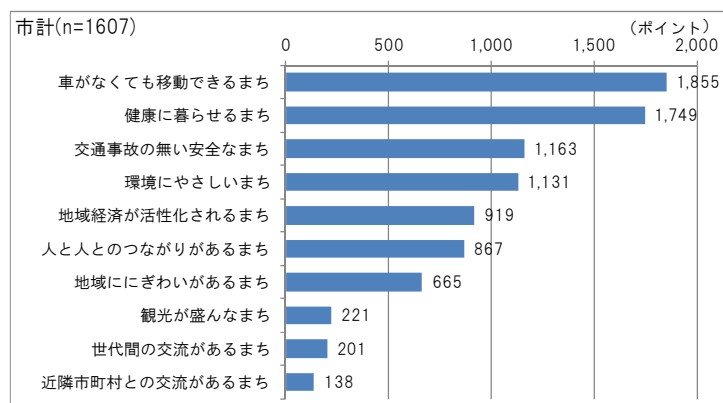


図 2-17 優先したいと思う「美濃加茂市の将来のまちの姿」（市民アンケート）（再掲）



## ② 鉄道、路線バス、コミュニティバス及びタクシー等相互の連携

乗降調査結果より、バス利用者の約14%は鉄道及び路線バスとの乗継が行われており、課題①からは、定住自立圏域内の各町村から美濃加茂市を目的地とした移動ニーズ、市民アンケート結果からは、約35%は市外を目的地とする移動ニーズがあることがわかります。

また、市民アンケート結果より、あい愛バスを利用していない理由として「運行本数」が約17%、「運行日」が約8%、あい愛バス利用者が往復利用しない理由として「利用したい時間と合わないから」が約56%となっています。

これらのことから、利用したいときに移動できる公共交通の利用環境を創出するため、鉄道、路線バス、コミュニティバス及びタクシー等の公共交通相互の連携を図るとともに、乗り継ぎが可能となる時刻設定や乗り継ぐ際のストレスを緩和する施策の一体的な取り組みが課題です。

図 2-18 乗り継ぎ路線（乗降調査）（再掲）

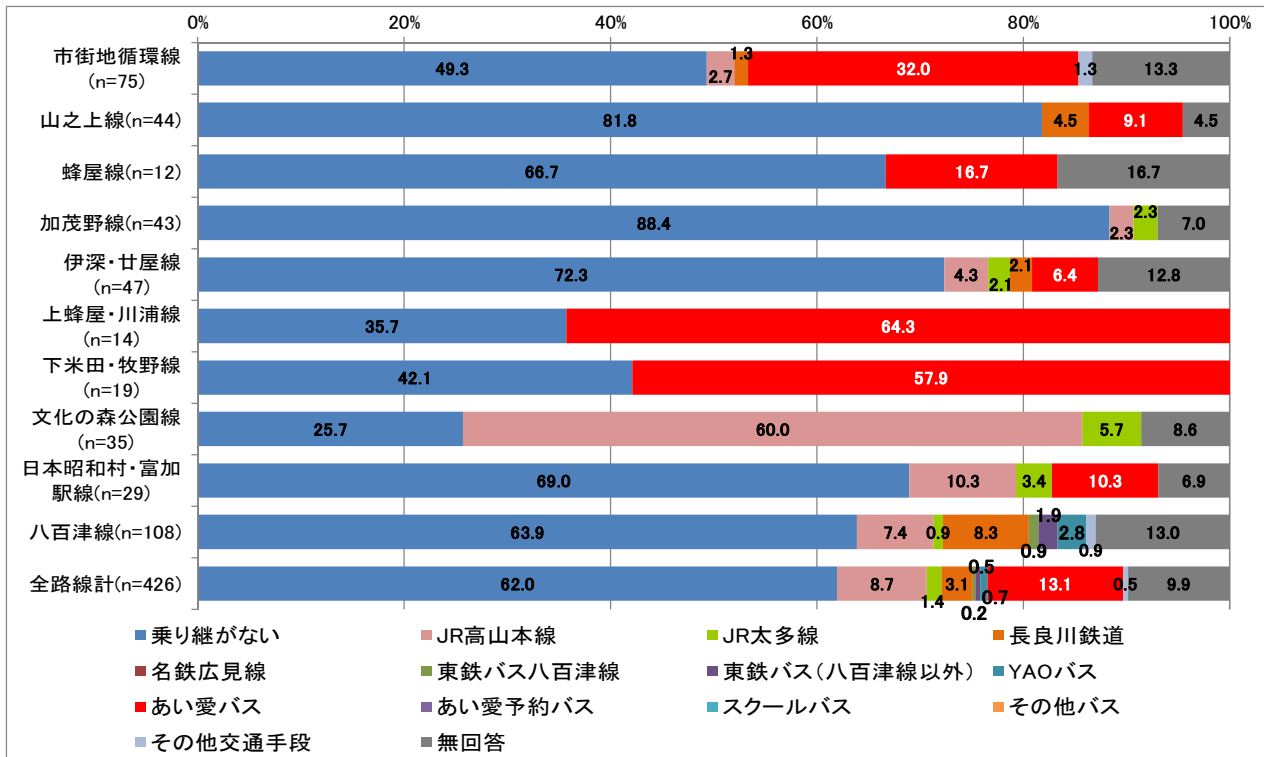


図 2-19 あい愛バスを利用していない理由（市民アンケート）

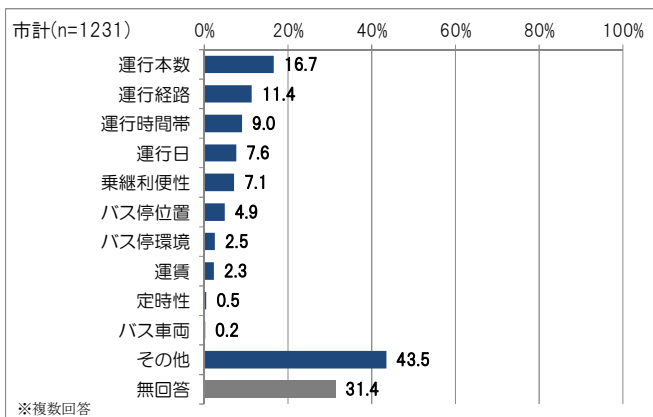
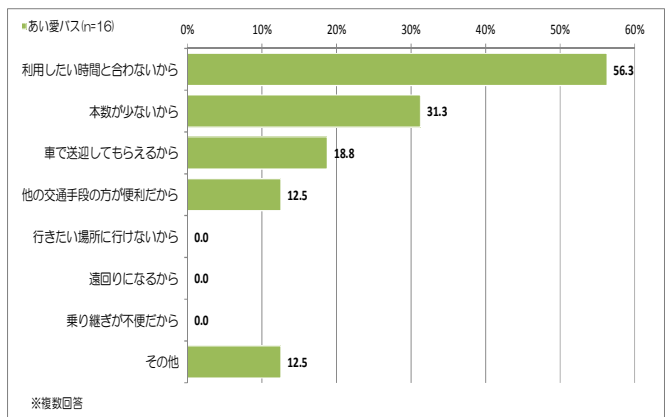


図 2-20 あい愛バスを往復利用しない理由（利用者アンケート）



### ③ 誰もがわかりやすく、安心して使いやすい公共交通の充実

市民アンケート結果では、バス路線が運行していることについての認知度は高いものの、時刻や運行経路など、実際にバスを利用するために必要な情報に対する認知度は低くなっています。

移動制約者アンケート結果では、移動制約者の約43%は「バスが利用できるが利用していない」としています。また、1人でバスを利用して自宅から目的地まで移動する場合、困っている又は困ることは「運行本数が少ない」約23%、「最寄りのバス停まで遠い」約23%となっており（P38下図）、これらバス利用環境が改善された場合の利用意向は約33%となっています（P39上図）。

したがって、市民のバスに関する認知度の向上を図ることやバスを利用しやすくなるよう環境を整備することなど、誰もがわかりやすく、安心して使いやすい公共交通の充実が課題です。

図 2-21 バスに関して知っていること（市民アンケート）（再掲）

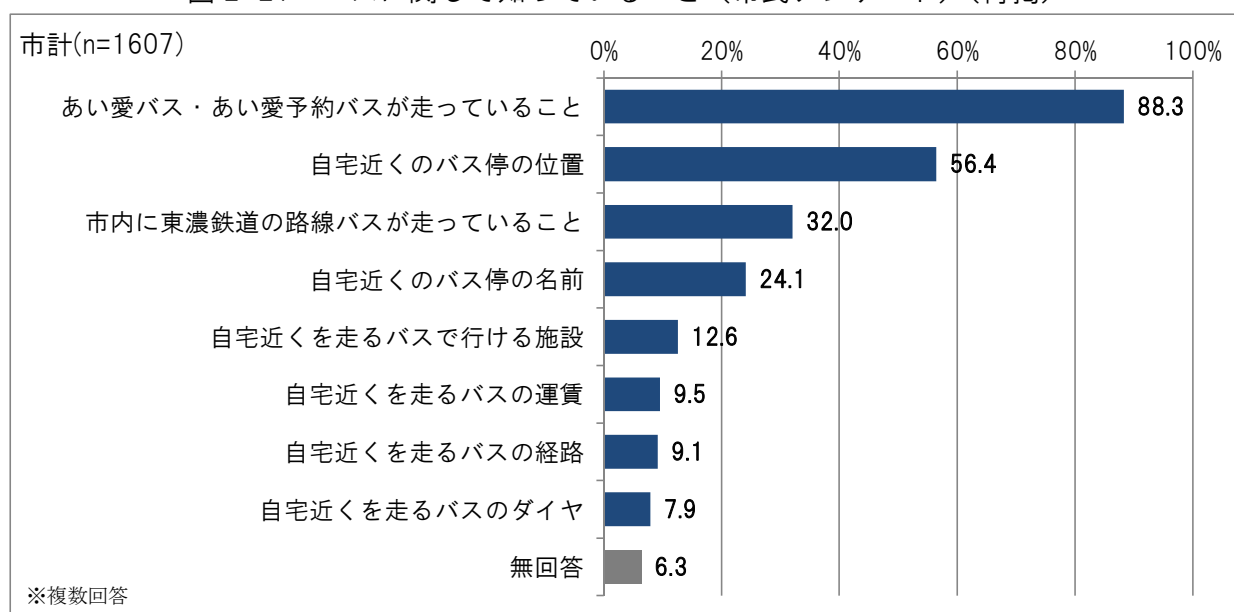
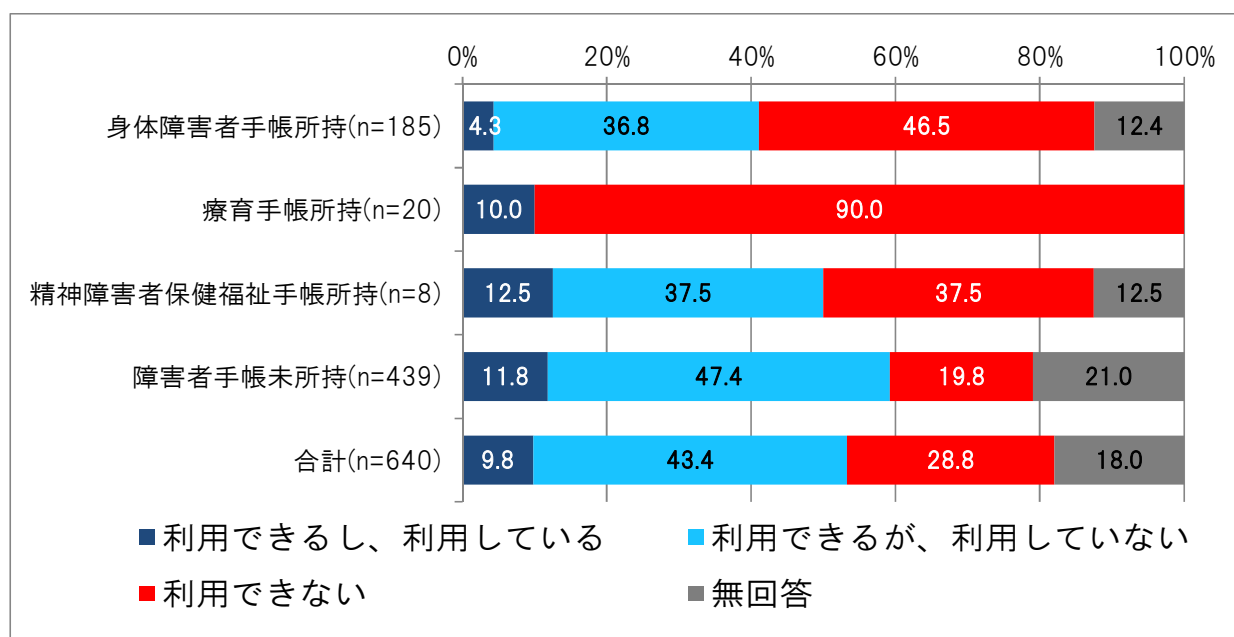


図 2-22 路線バスの1人利用について（移動制約者アンケート）（再掲）





#### ④ 市民ニーズへの対応と公共交通維持に対する住民参加

バス利用者アンケート結果におけるあい愛バスの満足度割合は、不満度割合を上回っていますが、「運行本数」、「バス停の待合環境」、「運行している時間帯」に対する不満度割合が相対的に高くなっています。

市民アンケート結果では、普段送迎しているとする人は回答者の約42%存在し、30～49歳の約32%は送迎が「負担となっている」としています。また、送迎されている人の約48%は、公共交通を利用できる場合、「できる限り公共交通を利用する」としています。また、将来のまちの姿の実現のために優先したいと思う今後の公共交通の方向性では、「車が利用できなくなったときに利用できること」が最も多くなっています（P26上図）。

一方、地域懇談会への参加意向では、「参加してもよい」とする人は回答者の約3%であり、市民の協力意向は高くありません。

以上のことから、現在の利用者の満足度の向上や非利用者の新規需要確保のための市民ニーズへの対応と公共交通維持に対する住民参加のあり方の検討が課題です。

図2-23 送迎されている人が公共交通を利用できる場合の対応（市民アンケート）（再掲）

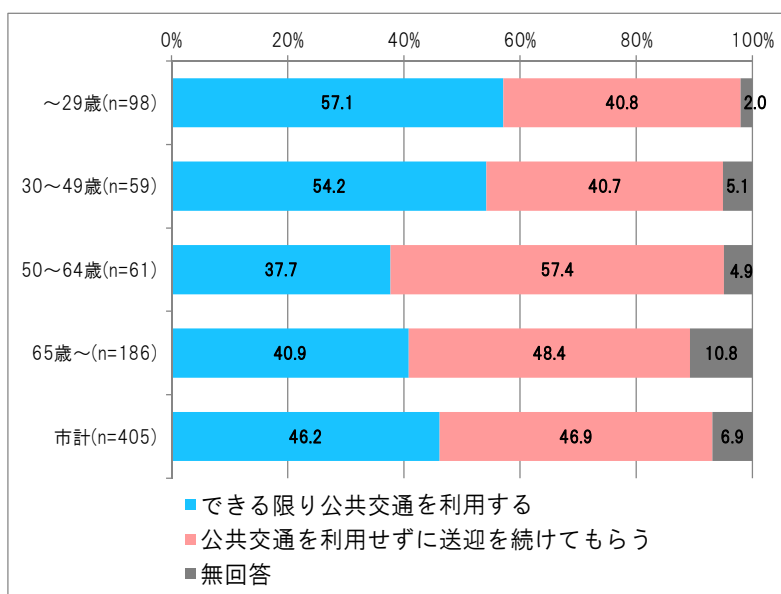


図 2-24 地域懇談会参加意向（市民アンケート）（再掲）

